

Ⅲ 事 業 編

第1 母子保健事業

1 母子保健の歩み

- 昭和23年 妊産婦・乳幼児の健康診査を開始
- 昭和36年 3歳児健康診査を開始
- 昭和40年 母子保健法制定
- 昭和41年 3か月児健康診査と同時にツベルクリン反応・BCG接種を開始
- 昭和44年 乳幼児心臓疾患精密検診開始
- 昭和48年 「碧南市健康を守る会」に小児保健部会が発足
- 昭和51年 小児保健部会を母子保健部会に名称変更
3か月児・2歳児健康診査開始、合わせて3歳児健康診査（保健所事業）を保健センターで実施
- 昭和53年 1歳6か月児健康診査を開始、2歳児健康診査を中止
- 昭和55年 母子モデル地区地域育成事業を開始
- 昭和57年 母子健康手帳の交付及び妊婦保健指導を開始
3歳児健康診査に眼位検査及び視力検査を導入し乳幼児の目の相談を併設
ことば教室を開始
- 昭和58年 むし歯のできにくいおやつ教室を開始
- 昭和59年 育児相談を開始
- 昭和61年 パパとママの育児教室を開始
- 昭和62年 新婚学級を開始
- 平成元年 新婚学級をニューライフセミナーに名称変更
- 平成2年 ことばの教室をのびのび教室に名称変更
- 平成2年 ニューライフセミナーを新婚セミナーに名称変更
- 平成4年 3歳児健康診査に聴覚検査を導入
すくすく教室を開始
母子保健法改正で母子健康手帳の交付が市に委譲、並びに母親教室が市に委譲
され、パパとママの育児教室と合わせてパパママ教室に名称変更し開始
- 平成8年 乳幼児心臓疾患精密検診を廃止
- 平成9年 地域保健法の施行により、妊婦・乳児健康診査を医療機関委託及び保健センターで開始。3か月児・3歳児健康診査、新生児訪問も市主催で開始

- これらに併せて、離乳食講習会、乳幼児経過観察クリニックを開始
6月おやつ教室をかむかむ教室に名称を変更
- 平成11年 マタニティークッキング教室を開始
- 平成12年 子育て広場を開始
- 平成13年 2歳児育児相談開始
乳幼児事故アンケート実施、妊娠中の喫煙についてアンケート実施
- 平成14年 新婚セミナー中止
のびのび教室を月2回実施
- 平成15年 子育て広場を年6クール開催（1クール4回の実施）
母子健康手帳の交付について初産婦は、毎週水曜日午前中集団教育と個別相談を実施（2月から）
のびのび教室を2グループに分け、月3回実施
子育てママのヘルシークッキング教室を開始
- 平成16年 のびのび教室を10月から月4回実施
すくすく教室の内容を見直し1クール4回実施（年4クール）
子育て講演会を実施
母子保健推進員養成講習会の実施
3月から母子保健推進員（25名）による赤ちゃんお誕生おめでとう訪問（第1子のみ）を開始
経過観察クリニックを中止
- 平成17年 かむかむ教室を中止し、対象年齢を1歳児として6月より歯と栄養のおたんじょうび教室を開始
1月から赤ちゃんお誕生おめでとう訪問を全出生児とする。また、産後うつのアンケートを全産婦に実施
1月から母子保健推進員が運営主体で赤ちゃんサロンを開始
母子保健推進員の第2期生の養成講習会及び第1期生のフォローアップ研修会の実施
- 平成18年 妊婦健康診査受診（公費負担）を2回から3回にする
マタニティークッキング教室を年6回から毎月1回（年12回）とし、講話内容を3つに変更し実施
子育てママのヘルシークッキング教室を子育てママの食育クッキング教室に名称を変更
- 平成19年 妊婦健康診査受診（公費負担）を3回から7回にする

- 歯と栄養のおたんじょう日教室をかむかむ教室に名称変更する
- しんまいママのふれあいサロンを中止する
- すくすく教室の対象年齢及び内容を変更する
- 平成 20 年 妊婦健康診査受診（公費負担）を 7 回から 14 回に変更する
（妊婦健診の一部を補助する受診票の交付）
- 平成 21 年 養育支援訪問事業の中核機関としてケース検討会の開催及び訪問の開始
- 平成 22 年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加
- 平成 23 年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加（HTLV－1 抗体検査）
- 平成 25 年 離乳食講習会をごっくん教室（離乳食前期）に名称変更し、もぐもぐ教室（離乳食後期）」を隔月で開始
- かむかむ教室を毎月実施から隔月実施にする
- 平成 25 年 4 月 1 日以降に出産した産婦に産婦健康診査受診票を交付（公費）
- 母子保健法（第 18 条）に基づく低出生体重児届出先が市町村に変更され、未熟児の家庭訪問が市町村に移譲
- パパママ教室の内容に、乳幼児の泣きについてなどを追加
- 平成 25 年 4 月から 3 か月児健康診査と同日で実施していた BCG 接種を対象月齢の変更に伴い、別日での実施に変更
- 平成 26 年 3 歳児健康診査の耳鼻科医師による聴覚診察を平成 27 年 3 月で終了
- すくすく教室の参加月を偶数月とし 4 回参加とする
- 平成 27 年 3 か月児健康診査に股関節に関するアンケートを取り入れる
- 平成 28 年 プレママ食育教室を中止し、初産婦向け母子健康手帳交付時（集団教育）に栄養指導を実施
- 一般不妊治療費助成を全額助成にする。特定不妊治療費助成を、平成 28 年 7 月から申請受付開始（平成 28 年 4 月 1 日の医療費から適用）
- 平成 29 年 ごっくん教室、もぐもぐ教室、かむかむ教室を離乳食教室 前期・後期・完了期と名称変更し、離乳食の進行に合わせた時期に受講
- 平成 30 年 のびのび教室を、参加対象年齢を 2 グループに分けて実施
- 11 月から子育て世代包括支援センターを開始
- 令和元年 令和 2 年 1 月から産後ケア事業を開始
- 令和 3 年 新生児聴覚検査（公費負担）を開始する。（令和 3 年 4 月 1 日以降に生まれた児から対象）
- 令和 4 年 生殖補助医療助成制度を開始
- 令和 5 年 産婦健康診査を 1 回から 2 回に変更する

多胎妊娠の場合、5 回分の妊婦健康診査を追加する

2 月から出産・子育て応援事業を開始

特定不妊治療費助成事業は県の補助事業終了に合わせて終了

令和 6 年 母子健康手帳の交付を初産婦も経産婦と同様の個別交付に変更

2 母子健康手帳交付

(1) 目的

妊娠届出書に基づき、母子健康手帳を交付し、妊娠中の管理及び産後・子どもが 6 歳になるまでの健康状態を記録し、保管する。

(2) 実施方法

平日の午前中（祝日および 1 2 月 2 9 日から 1 月 3 日を除く）に個別で交付

(3) 交付状況

交付数 481（双胎 7）

（単位：人）

妊娠届出数	初産	経産	11 週以内		12～19 週		20～27 週		28 週以降		分娩後	
			初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産
474	189	285	176	271	8	11	3	1	2	2	0	0
			447		19		4		4		0	
			(94.3%)		(4.0%)		(0.8%)		(0.8%)		(0%)	

3 妊産婦・乳児健康診査

(1) 目的

健診を通じて異常の早期発見を図るとともに、適切な指導を行う。経済的負担の軽減を図り、無事に出産を迎えることができることを目的とし、一部を補助する「受診票」を交付する。

(2) 交付

母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査（1 4 回分）、産婦健康診査（2 回分）、新生児聴覚検査（1 回分）、乳児健康診査（2 回分）の受診票を発行

多胎妊娠者には妊婦健康診査 5 回分を追加交付

(3) 受診状況（医療機関委託・償還払い）

（単位：件）

	受診数	判定結果	
		異常なし	異常あり
妊婦健康診査 第 1 回－ 1	469	392	77
妊婦健康診査 第 2 回	440	426	14
妊婦健康診査 第 3 回	444	439	5
妊婦健康診査 第 4 回	444	432	12
妊婦健康診査 第 5 回	434	418	16
妊婦健康診査 第 6 回	444	434	10
妊婦健康診査 第 7 回	441	429	12
妊婦健康診査 第 8 回	459	235	224
妊婦健康診査 第 9 回	439	424	15
妊婦健康診査 第 1 0 回	453	370	83
妊婦健康診査 第 1 1 回	423	416	7
妊婦健康診査 第 1 2 回	451	297	154
妊婦健康診査 第 1 3 回	311	307	4
妊婦健康診査 第 1 4 回	157	155	2
妊婦健康診査 第 1 回－ 2	465	447	18
産婦健康診査 第 1 回	458	454	4
産婦健康診査 第 2 回	440	428	12
新生児聴覚検査	388	379	9
乳児健康診査 第 1 回	479	423	56
乳児健康診査 第 2 回	365	345	20

年間受診延件数	妊婦	産婦	新生児聴覚	乳児
令和 6 年度	延 5, 809	延 898	388	延 844

(4) 健診結果（健康診査結果報告書の内訳）

妊婦健診結果

（単位：件）

	高血圧・ 蛋白尿	貧血	その他	HBs 抗 原陽性
1 回目	29	22	58	—
8 回目	9	154	124	—
12 回目	20	155	14	—

※重複あり

貧 血：Hb11.0g/dl 未満

高血圧：140/90mmHg 以上

蛋白尿：（++）以上

新生児聴覚検査結果

乳児健診結果

（単位：件）

	身体 発育	運動 発達	心疾患	その他
1 回目	7	0	13	26
2 回目	2	9	2	6

※重複あり

※ その他の内容

1 回目 臍肉芽腫、血管腫など

2 回目 移動性睾丸、漏斗胸など

（単位：件）

	両耳	右耳のみ	左耳のみ
Refer（要再検査）	2	2	5

4 パパママ教室

(1) 目的

夫婦になる心構えや子どものいる夫婦関係を考えながら育児の具体的な方法を学び、豊かな子育てと健やかな家庭づくりの手助けをする。

(2) 内容

ア 講話「赤ちゃんとの暮らし」

講師：助産院こよみ 助産師 安本直美

イ 実技演習・体験

抱っこ、おむつ交換、沐浴、妊婦体験

ウ 「赤ちゃん、なぜ泣くの？どう泣くの？」

乳幼児揺さぶられ症候群についてのDVD視聴、赤ちゃんの泣き声をCDで聞き、乳児の泣きや対応方法について理解する。

(3) 日時

6月、9月、12月、3月の日曜日 9時15分から12時

(4) 対象

母子健康手帳の交付がされている妊婦とその夫、家族

(5) 参加状況

実施回数 4回 参加人数 86人（うち妊婦数 43人）

5 離乳食教室 前期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、離乳食開始時に必要となる基本の知識を中心に普及するとともに、保護者自身が食事内容を振り返り、バランスの良い食事につながるきっかけとする。

(2) 内容

ア 講話「離乳食前期の進め方（栄養士）」・「離乳食の食べさせ方（歯科衛生士）」

イ 試食、質疑応答

(3) 日時

毎月第4水曜日 13時15分から14時15分

(4) 対象

生後4か月から6か月ごろの児をもつ保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 12回 参加数 109組

6 離乳食教室 後期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、生後7か月から11か月頃の児の発達と事故予防、離乳食中期・後期の進め方、食べ方のコツについて普及する。

(2) 内容

講話「発達と事故予防（保健師）」・「離乳食後期の進め方（栄養士）」・「食べる意欲の作り方（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

偶数月第1金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

7か月から11か月の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 75組

7 離乳食教室 完了期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、前歯の生えてきた1歳から1歳半頃の児を対象に、この時期の発達と子どもへの関わり方、離乳食完了期の進め方、そしゃくについて伝える。

(2) 内容

講話「1歳から1歳半頃の発達と子どもへの関わり方（保健師）」・「離乳食完了期の食生活と好き嫌いについて（栄養士）」・「そしゃくの練習（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

奇数月第3金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

1歳から1歳半頃の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 51組

8 すくすく教室

(1) 目的

1歳6か月から2歳までは発達の過程から育児が大変な時期である。この時期の育児不安や育児に困っている親が、子どもとの関わりを見つめ直す機会とする。また、不安などを相談できる場所があることを知ってもらい、親が育児を抱え込まないようにする。

(2) 内容

ア 自由遊びと個別相談

イ 全体遊び

ウ 親グループ（隔月）

(3) 日時

毎月第1金曜日 9時30分から11時

(4) 対象

1歳6か月から2歳の児とその保護者

(5) 定員

12組

(6) 参加期間

4か月間

(7) 従事者

保健師4名から6名、保育士1名、心理相談員1名、栄養士1名、歯科衛生士1名

(8) 参加状況

(単位：人)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	延参加者数
参加数	3	3	5	5	5	8	61
実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実参加者数
参加数	8	6	6	3	5	4	19

9 他機関からの依頼による健康教室

	実施回数(回)	参加人数(人)	担当
子育て支援センター等	4	69	保健師、栄養士
小学校、中学校	4	580	保健師
高等学校	1	20	保健師

10 乳幼児健康診査

(1) 乳幼児健康診査の結果

(単位：人)

		3か月児健康診査		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
対象者数		477		555		582	
受診者数		475	99.6%	546	98.4%	583	100.2%
判定区分	問題なし	358	75.4%	402	73.6%	496	85.1%
	要観察	34	7.1%	93	17.0%	35	6.0%
	要精密	32	6.7%	23	4.2%	24	4.1%
	要治療	5	1.1%	1	0.2%	0	0%
	既医療	46	9.7%	27	5.0%	28	4.8%
判定区分不明		0	—	0	—	0	—

(2) 乳幼児健康診査の結果の疾患別内訳（別表1から3 35から37ページ参照）

(3) 乳幼児健康診査の精密検査受診結果（別表4 38ページ参照）

(4) 子育て支援（保健指導・支援）の結果

ア 3か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	461	7	0	0	5	2
子の要因（その他）	406	33	1	0	33	2
親、家庭の要因	436	20	9	2	6	2
親子関係	468	1	2	0	2	2
実件数	336	53	10	1	43	2

イ 1歳6か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	261	82	27	2	174	0
子の要因（その他）	469	56	0	1	20	0
親、家庭の要因	519	12	7	1	7	0
親子関係	532	13	1	0	0	0
実件数	213	117	25	3	188	0

ウ 3歳児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	370	101	32	28	52	0
子の要因（その他）	518	63	1	0	1	0
親、家庭の要因	557	14	6	2	4	0
親子関係	578	4	0	0	1	0
実件数	322	145	32	29	55	0

1.1 乳幼児の眼科スクリーニング

乳幼児の眼の異常は早期発見することが必要である。昭和57年度から乳幼児健康診査（3か月・1歳6か月）時の医師によるスクリーニング、保護者からのアンケート調査（1歳6か月・3歳）、眼科医師による眼位検査（3歳児）および目の健康相談、令和4年度からはスポットビジョンスクリーナーを実施している。

- (1) 目の健康相談実施状況（3歳児眼位検査に併設）（単位：人）

	対象者数	受診人数	未受診人数
1歳6か月児アンケート	1	1	0
合計	1	1	0

※1歳6か月児アンケートの「はい」と回答のあった人数：72人

- (2) 目の健康相談結果（1人）

異常なし 0人 要精密検査 1人

- (3) 3歳児健診 視覚アンケート・視力検査・スポットビジョンスクリーナー・

眼位検査結果 ※重複あり

（単位：人）

眼位検査実施数		582	
家庭での視力測定		582	
内 訳	両眼可	366	
	未実施又は理解不能	179	
	右眼、左眼ともに 0.5 不可	17	
	右眼 0.5 不可又は、左眼 0.5 不可	20	
スポットビジョンスクリーナー実施数		582	
内 訳	異常なし		521
	異常の疑い		58
	再 掲	遠視	4
		不同視	2
		乱視	44
		斜視	9
		近視	3
	測定不能		2
	未実施		1
管理中		8	
事 後 処 理	問題なし		331
	指導		10
	家庭での視力測定再努力		157
	精密検査		83

事後処理	内訳	屈折異常疑	41
		眼位異常疑	26
		その他	23
	検査不能		1

ア 管理中の内容（8人）重複あり

乱視（2人） 遠視（1人） 斜視（4人）

内斜視（1人） 近視（1人）

イ 再視力測定児追跡結果

(ア) 書類返送あり 72人

異常なし 58人 異常あり 14人

(イ) 書類返送なし 85人

1.2 心理相談

(1) 目的

言語面や社会面等の発達に関しての心配や不安についての軽減を図る。

(2) 対象

ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診において言語面や社会面等の発達について経過観察が必要と思われる児

イ 保護者等から相談で必要と認められた児

(3) 実施状況

(単位：人)

1歳6か月児	3歳児	その他	合計
9	17	5	31

1.3 幼児健康診査での栄養相談

(1) 目的

規則正しくバランスの良い食生活ができるよう、保護者に具体的なアドバイスをし、児の健やかな成長ができるように栄養士が援助する。

(2) 対象

ア 1歳6か月児及び3歳児健診受診の親子（栄養資料は個別に説明・配布）

イ 1歳6か月児及び3歳児健診において体重増加不良、肥満傾向等の認められる児

ウ 相談を希望する親子

(3) 相談実施状況 (単位：人)

1歳6か月児	3歳児	合計
74	68	142

相談内容 (単位：人)

	1歳6か月児	3歳児
偏食	36	40
食生活	13	9
身長・体重	7	3
肥満	1	0
間食	6	6
小食	2	6
多食	6	0
授乳	1	0
アレルギー	2	0
その他	0	4

14 3歳児健診 耳の聞こえのアンケート・聴覚検査結果

聴力検査結果 ※重複あり (単位：人)

異常なし	464
主治医管理	4
精密検査	23
家庭での聴力検査再努力	91

(1) 主治医管理の内容

中等度難聴（1人） 右耳聞こえづらい（1人） 発達（2人）

(2) 精密検査の内容

滲出性中耳炎等疑い（1人） 難聴等疑い（27人）

(3) 再聴力検査追跡結果

ア 書類返送あり 38人

異常なし 34人 異常あり 4人

イ 書類返送なし 53人

1 5 育児相談、歯科相談

(1) 目的

育児における心配や不安の軽減を図り、こどもの発育状況に応じた育児の援助をする。

(2) 内容

身体計測（必要に応じて頭囲、胸囲）、育児相談、歯科相談

(3) 実施日、実施場所

ア 育児相談・歯科相談：保健センター 毎週月曜日 9時から11時

イ 2歳児育児相談：保健センター 毎月第1水曜日午後

ウ 子育て支援センター育児相談：

とーぶ、たなおっこ、ららくるにしばた 各施設年4回（午前）

こころつくしんかわ 年6回（午前）

(4) 対象

相談等を希望する乳幼児の保護者・乳幼児健診事後として必要と思われる児

(5) 実施状況

（単位：人）

育児相談(42回)			2歳児 育児相談 (12回)	子育て支援センター育児相談				計
	初回	再来		とーぶ (4回)	たなおっこ (4回)	ららくる にしばた (4回)	こころつく しんかわ (6回)	
乳児	179	319	—	7	6	5	9	525
幼児	133	310	89	18	17	21	18	606
計	312	629	89	25	23	26	27	1131

ア 来所目的 ※重複あり

（単位：人）

	育児相談	2歳児育児相談
身体計測	815	28
健診事後	56	60
育児相談	71	3
栄養相談	79	—
歯科相談	145	—

イ 相談内容 ※重複あり

（単位：人）

	育児相談	2歳児育児相談
栄養・食事	95	2
歯について	144	0

	育児相談	2歳児育児相談
発達について	52	61
身長・体重	857	48
育児全般	57	1
その他	6	4

1 6 栄養相談

(1) 目的

乳幼児の栄養を中心とする心配や不安を軽減し、児の健やかな成長ができるようにする。

(2) 内容

栄養士による個別相談

(3) 実施日・場所

月2回（月曜日）9時から11時 保健センター

(4) 対象

相談を希望する保護者

(5) 実施状況

（単位：人）

	乳児	幼児	合計
栄養相談	31	53	84

相談内容

（単位：人）

離乳食	29
量	15
偏食	8
授乳	5
食生活	15
体重	3
小食	1
間食	4
アレルギー	2
食ベムラ	2

17 のびのび教室

(1) 目的

- ア ことばや発達の遅れなどに心配がある親子に対し、集団保育・親子遊び等を通して発達を促す。
- イ 保護者が情報交換を通して、育児について一緒に考え、よりよい育児ができるように支援する。

(2) 内容

- ア 自由遊びと設定保育
- イ 親グループ（毎月1回）
- ウ 心理相談

(3) 日時

- ア ひよこグループ（2歳から2歳7・8か月未満）
毎月第1・3火曜日 9時30分から11時
- イ ぞうグループ（2歳7・8か月から就園まで）
毎月第2・4火曜日 9時30分から11時

(4) 対象

- ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診で、ことばや発達の遅れなどの心配のある児
- イ 保護者等からの相談で保健師が必要と認めた児

(5) 参加状況（令和6年度 実施回数47回 実人数45人）

5年度からの継続参加児	15人
6年度からの参加児	37人（うち、見学のみ6人）
ひよこグループ	実30人（延べ112人）（うち見学のみ2人）
ぞうグループ	実28人（延べ131人）（うち見学のみ4人）
ひよこグループからぞうグループへ移行した児	7人

ア 月別参加状況（単位：人）

ひよこグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	18	6	10	7	10	10	9	10	9	8	5	10	112

ぞうグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	10	13	18	14	9	17	10	11	9	10	4	6	131

イ 年齢（初回参加時） (単位：人)

	男	女	計
2～3 歳未満	24	14	38
3～4 歳未満	3	4	7
計	27	18	45

ウ 参加の主問題 ※重複あり (単位：件 ()内は人)

	男	女	計
ことば遅れ	20	13	33
かんしゃく	1	4	5
おちつきなし	11	7	18
母の育児不安	0	0	0
発達の遅れ	2	1	3
そ の 他	1	2	3
計	35 (27)	27 (18)	62 (45)

その他の内容

対人2人、マイペース1人

エ 参加後の状況 (単位：人)

に じ の 学 園 入 園	0
保育園・幼稚園入園	6
卒 業	7
次 年 度 継 続	9
福祉課親子支援事業	22
そ の 他	1
計	45

その他の内容

母の出産のため終了1人

(6) 従事者

保健師 4名から5名 保育士 1名 心理相談員 1名

18 母子保健推進員

(1) 目的

身近な地域にいる育児についての相談相手として、また保健センターとのパイプ役と

して母子保健推進員を養成し、保健センターの母子保健活動の充実を図るとともに子育て支援のひとつとして、子育てを地域で支える基盤作りの担い手とする。

(2) 定員

50名

(3) 職務

ア 乳児のいる家庭を訪問(育児情報の提供と記念品を持参)

イ 各種事業への協力

ウ 地域において母子保健の問題の把握に関すること及び知識の普及に関すること

エ その他母子保健の推進に関すること

(4) 委嘱人数

32名(令和6年4月1日現在)

(5) 活動内容

ア 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問

(ア) 従事実人数 13名(2名1組で訪問)

(イ) 訪問件数 251件

イ 赤ちゃんサロン

(ア) 従事実人数 24名(1回につき6名)

(イ) 開催回数 24回

(ウ) 従事延人数 116名

(6) 養成講習会(実4人)

(単位:人)

内 容		参加延人数
第1回	母子保健推進員とは、母子保健推進員活動の概要	4
第2回	家庭訪問の演習、先輩母子保健推進員との交流	4
第3回	話の聞き方、まとめ	4

19 母子保健推進員フォローアップ研修

(1) 目的

碧南市母子保健推進員として知識を高め、今後の赤ちゃんお誕生おめでとう訪問及び教室事業の活動に役立てる。

(2) 実施状況 (延40人)

(単位:人)

実施日	内 容	講師・担当	参加人数
5月30日	令和5年度母子保健推進員活動実績 3歳未満児の保育所利用およびプチ保育 事業について	健康課職員 こども課職員	10
10月17日	講演「2か月以降のママと赤ちゃんのケ アの方法について」	助産院・こよみ 助産師 美濃直美氏	14
3月28日	令和7年度の母子保健推進員活動につい て 講話「離乳食・幼児食のポイントと好き 嫌い対策について」	健康課職員	16

20 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問

(1) 目的

- ア 身近な地域に育児相談ができる人がいることを知ってもらう。
イ 産婦の育児不安などを早期に把握し、心配に応じ保健師等の訪問へとつなげる。
ウ 育児に役立つ情報の提供。

(2) 対象

令和6年2月から令和7年1月生まれの児とその保護者（生後2か月頃に訪問）

(3) 訪問従事者

母子保健推進員又は市職員

(4) 実績

(単位:人)

対象数（乳児）	保護者数	母子保健推進員 による訪問	市職員による訪問	訪問未実施
499	491	251	237	11

※訪問実績には対象者以外（月遅れの訪問等）も含む

未実施の理由:

- 里帰り中4人（里帰り先へ依頼）、居住実態が他市2人（他市へ依頼）
入院中1人、施設入所中1人、その他2人（予定が合わず令和7年4月訪問予定）
不在1人

2 1 赤ちゃんサロン

(1) 目的

- ア 月齢の低い児をもつ保護者が安心して集える場とする。
- イ 保護者同士が交流し仲間づくりをすることで、育児の孤立化を防止する。

(2) 対象

生後5か月までの児とその保護者

(3) 従事者

母子保健推進員6名、保健師

(4) 実施日

月2回 木曜日 実施回数24回

(5) 実施場所

保健センター

(6) 参加者数

開催回数（回）	参加組数（組）	参加者数（人）	新規組数（組）
24	236	472	78

2 2 家庭訪問

(1) 目的

- ア 妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進のための訪問指導を行う。
- イ 新生児及び乳幼児の育児支援としての母子訪問指導を行う。
- ウ 乳幼児健診などで継続支援の必要な児に対して訪問指導を行う。

(2) 実績

(単位：延件数)

対 象	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他	合 計
延件数	239	19	264	145	10	677

※妊産婦、乳児の件数は、「赤ちゃんお誕生おめでとう訪問」を含む

2 3 養育支援訪問事業

(1) 目的

養育支援が特に必要であると判断した家庭に対して、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。

(2) 対象

- ア 妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭

イ 子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭

ウ 虐待のおそれやそのリスクを抱える、特に支援が必要と認められる家庭

(3) 支援内容

目標、支援計画に基づき下記のような支援を行う

ア 安定した妊娠・出産・育児を迎えるための相談支援

イ 育児不安の解消や養育技術の提供のための相談支援

ウ 養育環境の維持改善や児の発達に関する相談支援

(4) 支援員

養育支援員、保健師

(5) 支援数

(単位：人)

対象者数	支援回数	ケース検討回数
1	4	2

支援終了者 1人

継続支援数 0人

検討のみ 0人

(6) 検討会議構成メンバー

刈谷児童相談センター、こども課、養育支援員等支援に係わる関係機関

(7) 中核機関

健康課

2.4 一般不妊治療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること

イ 医療機関によって一般不妊治療が必要であると認められたこと

ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

不妊の検査、一般不妊治療（タイミング法、人工授精）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額の全額（千円未満切捨て）とする

イ 助成期間

助成を開始した最初の月から、継続する２年間

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
68 件 (52 人)	13 人

2 5 生殖補助医療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること

イ 医療機関によって生殖補助又は先進医療が必要であると認められたこと

ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

生殖補助医療（体外受精・顕微授精、男性不妊の手術）および先進医療を受ける時に医療保険が適用された入院基本料など一般の診療と共通する部分（基礎的部分）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額、１回の治療につき上限１０万円（千円未満切捨て）とする

イ 助成回数

４０歳未満であるときは６回まで

４０歳以上であるときは３回まで

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
97 件 (61 人)	46 人

2 6 産後ケア事業

(1) 目的

出産直後の母子支援として、一定期間、医療機関又は助産施設において、母体の休養及び体力の回復並びに母体及び乳児のケアを行うことにより、母子の心身の安定及び育児不安の解消を図る。

(2) 対象

事業の対象となる者（以下「事業対象者」という。）は、市内に住所を有する出産後1年を経過していない保護者（乳児の養親若しくは里親を含む。以下「保護者」という。）と当該出産により出生した子（以下「その子」という。）で、事業を必要とする者。

ただし、当該の保護者又はその子が感染性の疾患に罹患している場合又は入院、治療等が必要な場合は、この限りではない。

(3) 内容

産後のからだやこころのケア、生活のアドバイス、授乳相談、育児相談など

(4) 契約実施機関（7医療機関、6助産院）

碧南市民病院、医療法人清風会 岡村産科婦人科、社会医療法人 財団新和会 八千代病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院、医療法人 尚志会 山田産婦人科、医療法人葵鐘会 ピーチベルクリニック、医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院、かとう助産院、碧助産院、りこ助産院、あなたの助産師あん、助産院・こよみ、だいとくや助産院

(5) 実 績

	宿泊ケア	通所ケア	訪問ケア
申請件数（件）	7	23	46
実利用者数（人）	6	15	24
延利用日数（日）	19	33	59

2 7 出産・子育て応援事業

(1) 目的

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と妊婦及び出生した子どもを対象として応援給付金を支給する「経済的支援」を一体的に実施する。

(2) 内容および対象

ア 伴走型相談支援

出産・育児の見通しを一緒に立てるため、①妊娠届出時、②妊娠8か月頃、③出産後に面談をし、その後継続的な情報の発信や随時の相談を実施する

イ 経済的支援

妊娠の届出をした妊婦および出生した児を対象に出産および子育て応援給付金を各5万円支給する

(3) 実績

ア 伴走型相談支援（転入分含む）

① 妊娠届出時面談	面談実施数（人）	474
② 妊娠8か月頃	アンケート送付数（人）	433
	アンケート返送数（人）	333 (76.9%)
	面談希望数（人）	7
	面談実施数（人）	7 (うち電話対応3)
③ 出生後	赤ちゃんお誕生おめでとう訪問数（人）	488

イ 経済的支援（転入分含む）

出産応援給付数（人）	479
子育て応援給付（人）	486

ウ 子育てアプリ「碧っ子ナビ」登録者数 912（令和7年3月末現在）

3～4か月児健康診査 基本情報 集計項目

集計基準日：2024/4/1

別表1

～ 2025/3/31

疾病の発見

		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力
発育	体重	8	24	376	48	19	0
	身長	2	25	395	36	17	0
	頭囲	4	18	401	39	13	0
	身体発育不良	所見なし	1～2階級	2階級超	未入力		
		381	82	3			9
神経系	筋緊張	所見なし	所見あり	未入力			
	反射	475	0	0			
	定頻	470	5	0			
運動発達	手の握り(物をつかまない)	474	1	0			
	姿勢	475	0	0			
	笑わない	475	0	0			
精神発達	声が出ない	475	0	0			
	視線が合わない	475	0	0			
	追視	475	0	0			
感覚器	聴覚異常	474	1	0			
	心音異常	471	4	0			
	腹部腫瘍	475	0	0			
泌尿生殖器	そけいヘルニア	471	3	1			
	停留精巣(男児)	250	1	3			
	仙骨皮膚洞・腫瘍	475	0	0			
股関節	外生殖器異常	471	4	0			
	股関節開排制限	456	18	1			
	血管腫	470	5	0			
皮膚	湿疹	443	32	0			
	被慮待跡	475	0	0			

保健指導・支援

		授乳	支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	他機関 連携支援	状況確認	未入力	
			436	35	0	0	1	3	
栄養 方法		母乳	人工	混合	未入力				
	1か月時	130	58	279	8				
	3～4か月時	175	142	157	1				
生活 習慣	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力					
		440	31	4					
健やか 親子・ 問診項 目	子育ての相談相手	いる	いない	未入力					
		457	15	3					
	ゆったりとした気分で子と過ごせる	はい	いいえ	何とも言えない	未入力				
		425	7	40	3				
	現在、あなた（お母さん）は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力	
			462	11	82	7	4	2	
	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力	
			343	124	1299	109	15	8	
	事故防止（誤飲）	はい	いいえ	未入力					
		391	79	5					
	妊娠・出産について満足している	はい	いいえ	どちらとも言えない	未入力				
		372	21	73	9				
	妊娠中、あなた（お母さん）は喫煙をしていましたか。	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力		
		461	11	55	6	5	3		
	妊娠中、あなた（お母さん）は飲酒をしていましたか。	なし	あり	未入力					
		469	2	4					
	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう 思う	どちらかといえばそう 思わない	そう思わない	未入力			
		356	99	10	2		8		
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力			
		53	15	0	1	406			
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力			
			2	49	416		8		
	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力				
			36	8	7				
子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力						
	451	17	7						
この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎが あった（はい）	感情的に叩いた（は い）	乳幼児だけを家に残 して外出した（はい）	長時間食事を与えな かった（はい）	感情的な言葉で怒 鳴った（はい）	子どもの口をふさ いだ（はい）	子どもを激しく揺 さぶった（はい）	該当なし（は い）	未入力
	3	3	2	0	8	1	1	456	1
乳幼児ゆさぶられ症候群	はい	いいえ	未入力						
	456	12	7						
子ども医療電話相談（#8000）を知っていますか。	はい	いいえ	未入力						
	387	81	7						
子どものかかりつけ医（医師）	はい	いいえ	何ともいえない	未入力					
	262	130	66	17					
お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。	妊娠中の就労	働いていたことがある	働いていない	未入力					
		311	158	6					
妊娠中、仕事を続けることに対して、職場から配慮をされたと思いますか。	配慮の有無	はい	いいえ	未入力					
		260	29	22					
妊娠中、マタニティマークを知っていましたか。	妊娠中の周知	知らなかった	知っていた	未入力					
		27	442	6					
マタニティマークを身につけたりするなどして利用したことがありますか。	妊娠中の利用	利用したことがある	利用したことはない	未入力					
		371	64	7					
子育て 支援		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	機関連携支援	状況確認	未入力		
	子の要因（発達）	461	7	0	0	5	2		
	子の要因（その他）	406	33	1	0	33	2		
	親・家庭の要因	436	20	9	2	6	2		
	親子関係	468	1	2	0	2	2		
	案件数	366	53	10	1	43	2		

R6年度追加項目

		そう思う	どちらかといえばそう 思う	どちらかといえばそう 思わない	そう思わない	未入力	
パートナーは協力し合って家事・育児をしている		367	92	3	4	9	
妊娠中、お子さんのお父さん（パートナー）は喫煙をしていますか。		父（パートナー）	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力
		342	125	1401	112	13	未入力

1歳6か月児健康診査 基本情報 集計項目

集計基準日：2024/4/1

～ 2025/3/31

別表2

疾病の発見(医科)

	97パーセンタイル超	90 パーセンタイル超	90 ～10 パーセンタイル	10 パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力
発育	体重	21	32	428	40	25
	身長	15	26	420	48	37
		所見なし	1～2階級	2階級超	未入力	0
	身体発育不良	373	157	6	10	
運動発達	歩行の遅れ	539	7	0		
	胸郭・脊柱の変形	546	0	0		
	歩容	537	9	0		
	O脚	543	3	0		
	手の使い方が未熟	544	2	0		
	発語の遅れ	511	35	0		
精神発達	視線が合わない	536	9	1		
	指示理解の遅れ	537	8	1		
	多動	542	3	1		
感覚器	斜視	543	3	0		
	聴覚異常	544	2	0		
消化器	腹部腫瘍	546	0	0		
	膵ヘルニア	545	1	0		
泌尿生殖器	停留精巣(男児)	262	5	0		
	そけいヘルニア	546	0	0		
皮膚	アトピー性皮膚炎	534	12	0		
	被虐待跡	546	0	0		

疾病の発見(歯科)

	総本数	処置歯数	未入力			
う蝕	う蝕数	10	0			
	う蝕罹患型	O1型	O2型	A型	B型	C型
口腔		275	268	3	0	0
		なし	あり	未入力		
		521	25	0		
		532	14	0		
		528	18	0		

保健指導・支援

	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	未入力			
生活習慣・食習慣	朝食	510	11	10	9	6		
	就寝時間	9時前	9時台	1 時台	11時以降	未入力		
		197	229	92	19	9		
	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力				
		341	195	10				
	おやつ回数	3回未満	3回以上	未入力				
		487	59	0				
	甘いおやつを食べる習慣	ない	ある	未入力				
		453	93	0				
	甘い飲み物を飲む習慣	ない	ある	未入力				
		417	129	0				
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力				
口腔機能		496	50	0				
	哺乳ビンで飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力				
		497	49	0				
	歯みがき	保護者が仕上げみがきをしている	保護者のみでみがく	子どもだけでみがく	みがかない	未入力		
		365	168	5	8	0		
	飲み込めない・かまずに丸飲み	ない	時々ある	いつもある	未入力			
		287	249	10	0			
	食事のときに足裏が床についている	はい	いいえ	未入力				
		424	122	0				
	水分を飲むときに使用するもの	コップ	ストロー・マグ	その他	未入力			
		321	220	5	0			
健やか親子・問診項目	子育ての相談相手	いる	いない	未入力				
		525	20	1				
	ゆったりした気分で子どもと過ごせる	はい	いいえ	何ともいえない	未入力			
		448	22	74	2			
	現在、あなた（お母さん）は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力	
			512	31	295	30	3	
	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力	
			374	158	1625	134	14	
	事故防止（浴室）	はい	いいえ	該当しない	未入力			
		372	163	8	3			
	予防接種	四種混合	はい	いいえ	未入力			
			540	6	0			
		麻疹・風しん	はい	いいえ	未入力			
			512	34	0			
	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力		
		398	124	12	8	4		
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力		
		0	0	0	0	546		
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力		
			6	102	437	1		
子育て支援	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力			
			85	13	10			
	子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力				
		523	21	2				
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい)	感情的に叫びた(はい)	乳幼児だけを家に残して外出した(はい)	長時間食事を与えなかった(はい)	感情的な言葉で怒った(はい)	子どもの口をふさいだ(はい)	子どもを激しく揺さぶった(はい)
		11	9	1	0	45	1	0
								484
								6
		支援不要	自ら対処可能	保健機関・継続支援	機関・連携支援	状況確認	未入力	
	子の要因(発達)	261	82	27	2	174	0	
	子の要因(その他)	469	56	0	1	20	0	
	親・家庭の要因	519	12	7	1	7	0	
	親子関係	532	13	1	0	0	0	
	実件数	213	117	25	3	188	0	

R6年度追加項目

パートナーは協力し合って家事・育児をしている	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力
	365	126	20	7	28

3歳児健康診査 基本情報 集計項目

集計基準日: 2024/4/1 別表3
～ 2025/3/31

疾病の発見(医科)									
発育	肥満度	ふとりすぎ	5	ややふとりすぎ	11	ふとりぎみ	14	ふつう	546
		所見なし	447	10パーセンタイル未満	89	3パーセンタイル未満	未入力	やせ	2
	低身長							やせすぎ	0
	身体発育不良	所見なし	386	1～2階級	169	2階級超	未入力	未入力	5
運動発達	胸郭・脊柱の変形	所見なし		所見あり		未入力			
	歩容		580		3	0			
	O脚		573		6	4			
	母指と示指で輪ができない		582		1	0			
精神発達	発語の遅れ		553		26	4			
	視線が合わない		522		61	0			
	指示理解の遅れ		556		27	0			
	多動		556		26	1			
皮膚	吃音		566		16	1			
	アトピー性皮膚炎		568		8	7			
	被虐待跡		572		11	0			
			582		1	0			
感覚器	視覚検査	異常なし		管理中		異常の疑いあり	未入力		
			394		7	97	85		
	聴覚検査	異常なし		主治医管理		異常の疑い(難聴等)	異常の疑い(難聴等)	未入力	
			498		3	1	27	54	

疾病の発見(歯科)									
う蝕	う蝕数	総本数		処置歯数		未入力			
			125		7	0			
	う蝕罹患型		O型	A型	B型	C1型	C2型	未入力	
			554	18	10	0	1	0	
口腔	歯列・咬合異常	なし		反対咬合(下顎前突)		上顎前突(過蓋咬合)	開咬	その他	未入力
			541	17	13	4	8	未入力	0
	軟組織異常	なし		小帯		歯肉	その他	未入力	
			576	6	0	1	0		
口腔習癖	歯の形態・歯数異常	なし		あり		未入力			
			548	35	0				
	その他異常		582	1	0				
	歯垢付着		574	9	0				
指しゃぶり・おしゃぶり		なし		あり		未入力			
			569	14	0				

保健指導・支援									
生活習慣・食習慣	朝食	ほぼ毎日食べる		週4～5日食べる		週2～3日食べる		ほとんど食べない	未入力
			525		35	12		8	3
	就寝時間	9時前		9時台		10時台		11時以降	未入力
			126		316	117		14	10
生活習慣・食習慣	メディアの視聴	いいえ		はい		未入力			
			317		259	7			
	排泄の自立	できる		手伝えばできる		できない		未入力	
			171		240	166		6	
生活習慣・食習慣	おやつ回数	3回未満		3回以上		未入力			
			485		98	0			
	甘いおやつを食べる習慣	ない		ある		未入力			
			341		242	0			
生活習慣・食習慣	甘い飲み物を飲む習慣	ない		ある		未入力			
			373		210	0			
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない		ある		未入力			
			563		20	0			
生活習慣・食習慣	哺乳ビンで飲みながら寝る習慣	ない		ある		未入力			
			554		29	0			
	歯みがき	親が仕上げみがきをする		親だけでみがく		子どもだけでみがく		ほとんどみがかない	未入力
			475		105	2		1	0
口腔機能	飲み込めない・かまずに丸飲み	ない		時々ある		いつもある		未入力	
			452		127	4		0	
	食事のときに足裏が床についている	はい		いいえ		未入力			
			456		127	0			
健やか親子・問診項目	口を閉じて食べる	はい		いいえ		未入力			
			533		45	5			
	子育ての相談相手	いる		いない		未入力			
			557		25	1			
健やか親子・問診項目	ゆったりした気分で子と過ごせる	はい		いいえ		何ともいえない		未入力	
			435		19	123		6	
	現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。	母		なし		あり	本数合計	本数回答者	未入力
					549	32	336	32	2
健やか親子・問診項目	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父		なし		あり	本数合計	本数回答者	未入力
					409	158	1526	133	16
	事故防止(転落)	はい		いいえ		未入力			
			533		42	8			
健やか親子・問診項目	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない	未入力
			433		131	9		3	7
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている		時々やっている		ほとんどしない		何ともいえない	未入力
			30		16	0		0	537
健やか親子・問診項目	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ		いつも感じる		時々感じる		感じない	未入力
					11	157		405	10
	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法		はい		いいえ		未入力	
					134	25		9	
健やか親子・問診項目	子どもの社会性の発達過程	はい		いいえ		未入力			
			478		95	10			
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい)		感情的に叩いた(はい)		乳幼児だけを家に残して外出した(はい)	長時間食事を与えなかった(はい)	感情的な言葉で怒鳴った(はい)	該当なし(はい)
			26		21	3	0	126	428
健やか親子・問診項目	子どものかかりつけ医	はい		いいえ		何ともいえない		未入力	
					440	61		47	35
		医師			196	305		40	42
		歯科医師							
子育て支援	支援不要	自ら対処可能		保健機関継続支援		他機関連携支援		状況確認	未入力
			370		101	32		28	52
	子の要因(発達)		518		63	1		0	0
	子の要因(その他)		557		14	6		2	4
子育て支援	親子関係		578		4	0		0	1
	事件数		322		145	32		29	55
									0

R6年度追加項目					
パートナーは協力合って家事・育児をしている	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力
		395	125	25	16

【精密検査受診結果】

令和6年度

健診		3 か月児健診							1 歳 6 か月児健診							3 歳児健診						
健診 受診 状況	対 象 者 数	受 診 者 数	異 常 な し	要 察 ・ 異 常 あり	受診結果 病名など	(再) 他 院 紹 介	未 受 診	対 象 者 数	受 診 者 数	異 常 な し	要 察 ・ 異 常 あり	受診結果 病名など	(再) 他 院 紹 介	未 受 診	対 象 者 数	受 診 者 数	異 常 な し	要 察 ・ 異 常 あり	受診結果 病名など	(再) 他 院 紹 介	未 受 診	
骨 関 節 疾 患	40	36	27	9	開 排 制 限 (8) 診 断不可 (1)	1	4	4	3	1	2	両 内 反 膝 (1) 左 脚0脚 (1)	1	1								
泌 尿 器 腎 疾 患																						
眼 科										4	0			4	104	62	12	50	・ 両弱視 (1) ・ 両側遠視疑 (1) ・ 両側近視 (1) ・ 両側弱視・ 両側乱視 (1) ・ 両弱視疑・ 両乱視・ 遠視 (1) ・ 左乱視 (1) ・ 右乱視 (2) ・ 右弱視・ 左遠視 (1) ・ 両近視 (1) ・ 両乱視・ 遠視 (10) ・ 右乱視・ 左遠視性乱視 (1) ・ 両側乱視 (1) ・ 外斜視 (1) ・ 両側乱視遠視近視 (2) ・ 左外斜視 (2) ・ 両側遠視・ 近視 (1) ・ 両外斜視・ 乱視 (1) ・ 両乱視 (4) ・ 右弱視 (1) ・ 両内斜視 (1) ・ 視力検査不可 (6) ・ 右弱視・ 両遠視 (1) ・ 両外斜視・ 両遠視 (1) ・ 右乱視・ 右遠視 (1) ・ 両乱視・ 近視 (1) ・ 間欠性外斜視 (1) ・ 右外斜視 (1)	9	42	
耳 鼻 科															31	8	4	4	・ 検査不可 ・ 左難聴 ・ ABR希望なし (2)	1	23	
その他	7	6	2	4	右停留精巣 (1) 会陰溝 (1) 心室中隔欠損 (1) 今後の経過をみて考える (頭囲・大泉門) (1)	0	1	21	16	3	13	低身長 (3) 機能性心雑音 (1) 脊髄性筋萎縮性の疑い (1) 右陰嚢水腫 (1) 言語発達遅滞 (3) 精神発達遅滞 (1) 右移動性停留精巣 (1) 発達遅滞 (1) 診断未確定 (陰唇癒合) (1)	2	5	25	14	1	13	・ 外国語及び複雑な家庭環境因子による発達障害の疑い (1) ・ ASD疑 (1) ・ 言語発達遅滞 (5) ・ 言語発達遅滞・ ASD疑・ ADHD疑 (1) ・ ASD (1) ・ 言語分野・ 言語及び言語理解の発達遅滞 (1) ・ 自閉症スペクトラム知的障害疑 (1) ・ 検査不可 (2)	4	11	
合計	47	42	29	13		1	5	29	19	4	15		3	10	160	84	17	67		14	76	

紹介先

・診断不可 (1) → あいち小児保健医療センター

・左脚0脚 (1) → 安城更生病院
 ・診断未確定 (陰唇癒合) (1) → 安城更生病院
 ・発達遅滞 (1) → 刈谷豊田総合病院

・両側遠視疑 (1) → 碧南市民病院
 ・右弱視・左遠視 (1) → 加藤眼科
 ・両側乱視 (1) → 加藤眼科
 ・左外斜視 (1) → 加藤眼科
 ・右乱視 (1) → 碧南市民病院
 ・両側乱視・遠視・近視 (1) → 加藤眼科
 ・右弱視 (1) → 加藤眼科
 ・右弱視・両遠視 (1) → 加藤眼科
 ・両乱視 (1) → 加藤眼科
 ・左難聴 (1) → 碧南市民病院
 ・言語発達遅滞 (1) → 三河青い鳥療育センター
 ・言語分野・言語及び言語理解の発達遅滞 (1) → 三河青い鳥療育センター
 ・未検査 (2) → 愛知医科大学病院
 → 三河青い鳥療育センター

第2 各種予防接種事業

1 予防接種の歩み

- 昭和 37 年 インフルエンザ予防接種集団接種開始、勧奨接種
- 昭和 41 年 定期予防接種（5 種類）ジフテリア・百日咳（2 種混合）・急性灰白髄炎・種痘・腸パラチフス・ジフテリア
- 昭和 44 年 ジフテリア・百日咳（2 種混合）に破傷風を加えて 3 種混合となる
腸パラチフス予防接種廃止
- 昭和 45 年 予防接種対象者全員に問診票、体温測定（37℃以上中止）および胸部聴打診開始
- 昭和 46 年 日本脳炎予防接種対象者の変更（小学 2 年生・中学 1 年生）
- 昭和 49 年 予防接種小委員会発足
種痘予防接種について第 1 期 2 歳以上は中止
（安城更生病院小児科部長の協力を得て、年長児について L c ワクチンにて実施）
- 昭和 50 年 3 種混合予防接種による死亡事故が県内にあり 2 月より中止、10 月より百日咳を除く 2 種混合にて再開
種痘予防接種中止
予防接種事故対策委員会設置
- 昭和 51 年 予防接種法改正（対象疾病 10 種類）
定期予防接種（6 種類）痘そう・百日咳・ジフテリア・急性灰白髄炎・麻疹・風しん
一般的臨時予防接種（3 種類）インフルエンザ・日本脳炎・ウイルス病
緊急的臨時予防接種
痘そう・コレラ及び厚生大臣が定める疾病
定期一般的臨時予防接種が義務接種となる
義務違反の罰則は、緊急的臨時予防接種に限定された
新保健センター設立に伴い各公民館で実施していた予防接種を保健センターにて統一会場として 1 月 13 日より開始する
予防接種相談コーナー開設
ジフテリア第Ⅲ期廃止になり、第Ⅳ期が繰り上がる
- 昭和 52 年 9 月インフルエンザ予防接種実施要領変更（接種間隔・接種量）
1 月より風しん予防接種開始（中学 2 年生女子・中学 3 年生女子の一部）

- 昭和 53 年 1 2 月より麻しん予防接種開始
(集団的個別接種方法により保健センターにて実施)
- 昭和 54 年 百日咳患者の発生が見られ 5 月より百日咳を含むジフテリア・百日咳・破傷風
(3 種混合) を再開
- 昭和 55 年 8 月痘そう撲滅宣言 (WHO) により廃止
ポリオ投与量の変更 1 m l → 0. 0 5 m l
- 昭和 56 年 ジフテリア・百日咳・破傷風混合新ワクチン (沈降性) にて実施
- 昭和 57 年 自動噴射式注射機 (ハイジェッター) にて予防接種実施
園児・小・中学生に使用 (インフルエンザ・日本脳炎)
- 昭和 58 年 日本脳炎予防接種を園児に保健センターで実施
- 昭和 59 年 自動噴射式注射機は中学生のみに使用
- 昭和 60 年 ジフテリア第Ⅲ期ワクチンをジフテリア単味より、ジフテリア・破傷風の 2 種
混合 (液状) に変更する
- 昭和 62 年 8 月インフルエンザ予防接種について、保護者の同意方式にて実施通達あり
8 月自動噴射式注射機の使用禁止の通達あり、全面的に中止する
- 昭和 63 年 麻しん予防接種、平成元年 3 月まで保健センターにて実施
- 平成元年 麻しん・おたふくかぜ、風しん新 3 種混合 (MMR)、9 指定医療機関にて実
施 (個別接種開始) 接種期間は、5 月と 1 0 月
日本脳炎予防接種ワクチンが中山予研株から北京株に変更
接種量の変更 1 m l → 0. 5 m l
集団接種禁忌者を碧南市民病院へ接種依頼開始
- 平成 2 年 MMR ワクチンによる無菌性髄膜炎の発生頻度が高いため原則とし、麻しんワ
クチンを接種するよう通達あり、麻しんワクチンを主に実施し、希望者のみ
MMR を実施
- 平成 3 年 2 種混合ワクチンを液状より沈降性に変更
- 平成 4 年 3 種混合の接種開始年齢を 2 歳から 1 歳 5 か月に変更する
麻しんは 9 指定医療機関にて、7・8 月を除く毎月実施となる
- 平成 5 年 MMR ワクチン接種については当面、実施を見合わせるように通達あり、全面
的に中止
麻しん指定医療機関 9 機関→8 機関
- 平成 6 年 1 0 月予防接種法の大改正 (実施は、平成 7 年度より)
義務接種→勧奨接種、問診票→予診票、集団接種→個別接種の推奨
定期予防接種 (7 種類) ジフテリア・百日咳・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・

日本脳炎・破傷風

臨時予防接種は、疾病の蔓延予防上、緊急の必要があると認められた場合に知事が接種対象者、接種期間を指定して行う（想定される疾病はない）

インフルエンザ予防接種中止

接種対象年齢変更 接種対象年齢が生後90月（7歳6か月）未満となる

「予防接種ガイドライン」が策定される それに伴い碧南市予防接種診断基準の見直しを行う

10月結核予防法の改正（実施は、平成7年度より）

ツベルクリン反応判読基準の変更

陰性4mm下→9mm以下、陽性10mm以上とし、擬陽性はなし

BCGは、義務接種→勧奨接種

平成7年 麻しんは、8指定医療機関で、通年実施となる

風しん予防接種

1歳2か月児を対象に接種開始

経過措置として

小学1年生全員を対象に接種開始（平成11年度まで実施）

中学生への接種は、男子も接種対象となる（平成15年度まで実施）

日本脳炎予防接種の対象学年の変更

小学2年生→小学4年生、中学1年生→中学3年生

平成8年 麻しん指定医療機関 8機関→9機関

平成9年 麻しん指定医療機関 9機関→7機関

平成11年 3種混合予防接種開始年齢を1歳5か月から生後6か月に変更する

風しん予防接種

経過措置対象者（小学生）への学校での接種終了

平成12年 5月から6月の（2回分）のポリオ予防接種は、厚生省の通達により見合わせる（接種後に副反応と思われる症例2例発生のため）

平成13年 11月7日予防接種法改正、定期予防接種の二類疾病として高齢者インフルエンザ予防接種開始（個別接種により市内25医療機関）

風しん予防接種

経過措置対象者（中学生）への学校での接種終了

平成14年 インフルエンザ指定医療機関 25機関→26機関

風しん予防接種

経過措置対象者（昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生）の方へ

- 再度接種勧奨をする（広報掲載）
乳幼児の接種日に同時実施
1 2月結核予防法施行令一部改正（実施は平成15年4月から）
児童・生徒のツベルクリン反応検査及びBCG接種廃止
- 平成15年 風しん予防接種
経過措置対象者への接種終了（9月30日まで）
日本脳炎第2期・第3期及び2種混合第2期の予備日接種会場の変更
学校→保健センター
- 平成17年 4月ツベルクリン反応を実施しないBCG直接接種開始
BCG対象者の変更 4歳未満→生後6か月未満
5月日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控え
現行ワクチン使用による重症ADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係
が認められたため積極的勧奨を差し控える通知あり見合わせる
7月予防接種法施行令等の一部改正
ジフテリア・破傷風・百日咳の定期予防接種
使用ワクチンが3種混合ワクチンのみとなる
日本脳炎予防接種第3期の廃止
麻しん風しんの定期予防接種の対象年齢等の変更（施行日18年4月1日）
第1期 1歳から2歳未満 MRワクチン1回接種
第2期 5歳以上7歳未満 MRワクチン1回接種
接種期間は小学校へ入学する前年度4月1日から3月31日
接種間隔の変更
生ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合
4週間以上→27日以上
不活化ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合
1週間以上→6日以上
- 平成18年 4月麻しん風しん混合ワクチン（MR）の導入と2回接種制度開始（第2期
は単抗原ワクチン対象者は除外する）
風しん・2種混合第2期が集団接種から個別接種へ変更
麻しん風しん指定医療機関 7機関→8機関
6月麻しん風しん第2期の対象変更（単抗原ワクチン接種者も対象となる）
接種開始は7月
- 平成20年 中学1年生（第3期）及び高校3年生（第4期）に相当する年齢のものに2回

目の麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を5年間の時限措置として実施
(第3期、第4期については、市内13指定医療機関で対応)

平成21年 平成21年6月2日から乾燥細菌培養日本脳炎ワクチンの使用による予防接種を、今まで一度も接種をしていない第1期対象者について希望される者に接種開始

平成22年 11月1日から日本脳炎第2期について希望される者に、接種開始
日本脳炎の第1期接種の標準的年齢となる3歳児への積極的勧奨の開始

平成23年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成23年度9歳・10歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成23年1月11日から「子宮頸がんなどワクチン接種緊急促進事業の実施要領」に基づき、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を平成25年3月30日の時限措置で実施

平成24年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成24年度8歳・9歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成24年9月1日から、ポリオの予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンに変わり、集団接種から個別接種に変更。3種混合予防接種も個別接種に変更する
平成24年11月1日より4種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)の予防接種開始

平成25年 4月から子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる
平成25年6月14日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に対応について」勧告があり、積極的勧奨を差し控える
4月からBCG予防接種の接種対象月齢が、「生後6月から1歳に達するまで」に変更される
6月から妊婦などが風しんに罹患することを防ぎ、先天性風しん症候群の発生防止のために、風しんワクチン予防接種助成事業を開始する
7月から後期高齢者医療広域連合被保険者に対して高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業を開始する。
日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成25年度8歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
第2期として、平成7年度から平成10年度生まれの者に勧奨

平成26年 定期予防接種がすべて個別接種となる

- 10月から水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる
- 平成27年 7月から子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業を開始
- 平成28年 10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種となる
- 令和元年 4月1日で子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業終了
令和元年度から3年間にかぎり、風しん第5期の予防接種開始
- 令和2年 10月からロタウイルスワクチンが定期予防接種となる
中学3年生に対するインフルエンザ予防接種費用助成実施
- 令和3年 2月から新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2回目接種）が臨時予防接種となる。
2月から医療従事者向け先行接種、3月から一般の医療従事者向け優先接種開始
5月から優先順位に基づく一般接種の開始（個別医療機関）
6月から集団接種の開始（碧南市民病院）
12月から追加接種（3回目接種）
- 令和4年 1月から、5歳から11歳に対する新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2回目接種）が特例承認される
4月から令和3年11月26日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について」通知があり積極的勧奨を再開
風しん第5期予防接種が令和7年3月31日までの時限措置となる
- 令和5年 4月1日からジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の定期予防接種の対象者について、沈降性ジフテリア破傷風混合トキソイドとして接種する場合を除き、「生後2月以上」となる。また、ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期予防接種の実施方法として、9価ワクチンによる2回接種及び3回接種が導入となる
高齢者肺炎球菌ワクチンの特例が終了となる
- 令和6年 新型コロナウイルスワクチンが、予防接種法施行令の改正により、定期予防接種（B類疾病）に追加となる
4月1日から定期接種のワクチンに5種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ）、小児の肺炎球菌感染症15価ワクチンが導入となる
10月1日から定期接種のワクチンに小児の肺炎球菌感染症20価ワクチンが導入され、13価ワクチンが終了となる
3月31日で令和4年度に再開されたヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種（キャッチアップ接種）が終了となる

2 定期予防接種（A類疾病）

令和6年度予防接種実施状況での報告数 令和7年4月末現在

(1) 混合ワクチン

ア 5種 第1期（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ感染症）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回1回目	498	486(478)	97.6
2回目	498	445(439)	89.4
3回目	498	396(391)	79.5
追加	498	50(50)	10.0

※ 対象者数は、新規対象者数、（ ）内は、当該年度碧南市内での接種数

イ 4種 第1期（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回1回目	—	9(0)	—
2回目	—	40(38)	—
3回目	—	99(96)	—
追加	—	540(536)	—

※ 対象者数は、新規対象者数、（ ）内は、当該年度碧南市内での接種数

ウ 2種 第2期（ジフテリア・破傷風）

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,289	820(818)	63.6

※ 対象者数は、新規対象者数、（ ）内は、当該年度碧南市内での接種数

(2) ポリオ（急性灰白髄炎）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回1回目	—	0	—
2回目	—	0	—
3回目	—	0	—
追加	—	0	—

(3) 麻しん風しん

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
第1期	507	511(510)	100.8
第2期	614	564(563)	91.9

※ 対象者数は、第1期は当該年度10月1日現在での1歳児数、第2期は当該

年度内に6歳になった者の数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(4) 日本脳炎

		対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
第1期	初回1回目	531	535(530)	100.8
	2回目	531	544(538)	102.4
	追加	531	580(578)	109.2
第2期		1,295	981(979)	75.8

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(5) 結核

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
483	490(481)	101.4

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(6) 小児の肺炎球菌感染症

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	498	495(488)	99.4
2回目	498	484(477)	97.2
3回目	498	486(480)	97.6
追加	498	509(507)	102.2

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(7) ヒブ感染症

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	—	2(0)	—
2回目	—	35(33)	—
3回目	—	89(86)	—
追加	—	465(464)	—

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(8) ヒトパピローマウイルス感染症 (定期及びキャッチアップ接種)

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	6,442	1,173(1,156)	18.2
2回目	6,442	1,022(1,005)	15.9
3回目	6,442	862(848)	13.4

※ 対象者数は、当該年度10月1日現在の対象年齢者数、

() 内は、当該年度碧南市内での接種数

(9) 水痘

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	507	517 (516)	102.0
2 回目	507	487 (483)	96.1

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(10) B型肝炎

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	498	490 (482)	98.4
2 回目	498	482 (474)	96.8
3 回目	498	470 (464)	94.4

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(11) ロタウイルス感染症

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)		接種率 (%)
		1 価	5 価	
1 回目	498	60 (55)	427 (424)	97.8
2 回目	498	60 (57)	417 (413)	95.8
3 回目	498		414 (411)	83.1

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

3 予防接種広域化実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス	14	結核	8
B型肝炎	19	麻しん風しん	2
ヒブ	6	水痘	5
小児の肺炎球菌	18	日本脳炎	13
5 種混合	15	2 種混合	2
4 種混合	9	ヒトパピローマウイルス	14

接種件数合計 125 件

依頼者数 37 人

(理由 かかりつけ医のため 24 人、里帰り等で市外の病院で接種を希望 3 人、
施設入所中のため 10 人)

4 県外医療機関依頼実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス	4	B型肝炎	3
5種混合	4	小児の肺炎球菌	4
結核	1	日本脳炎	2
ヒトパピローマウイルス	34		

接種件数合計 52件

依頼者数 18人

(理由 里帰り中 3人 県外滞在中 15人)

5 風しん第5期予防接種

(1) 対象者

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

(2) 実施期間

令和元年度から令和6年度

(3) 実施方法

風しん抗体検査を実施後、抗体価が基準の範囲内の場合、風しんの予防接種を実施

(4) 実績

(単位：人)

風しん抗体検査実施数	45
風しん予防接種実施数	8

6 定期予防接種（B類疾病）

(1) インフルエンザ

(単位：人)

年 齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	計
対象者	29	3,620	3,999	3,751	6,338	17,737
指定医療機関接種者	13	1,359	2,019	2,072	3,741	9,204
広域接種者等	1	45	54	39	132	271
総接種者	14	1,404	2,073	2,111	3,873	9,475
接種率（％）	48.3	38.8	51.8	56.3	61.1	53.4

(2) 高齢者の肺炎球菌感染症

(単位：人)

年 齢	60～64	65歳	計
対象者	0	547	547
指定医療機関接種者	0	136	136
広域接種者等	0	1	1
総接種者	0	137	137
接種率（％）	-	25.0	25.0

(3) 新型コロナウイルス感染症

(単位：人)

年 齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	計
対象者	30	3,694	4,005	3,754	6,324	17,807
指定医療機関接種者	6	464	727	833	1,695	3,725
広域接種者等	1	13	18	23	76	131
総接種者	7	477	745	856	1,771	3,856
接種率（％）	23.3	12.9	18.6	22.8	28.0	21.7

7 風しんワクチン予防接種助成事業（任意接種）

(1) 目的

風しんの発病を予防し、妊婦が風しんに罹患することを防ぐとともに、先天性風しん症候群の発生の防止を目的とする。

(2) 対象者

予防接種時に市内に住所を有する者で、事前の抗体検査結果が風しんワクチン接種事業費補助金交付要綱の別表1の風しん抗体価に該当し、下記のいずれかに該当する者（ただし、既にこの事業により接種費用の助成を受けたことがある者及び風しんの罹患歴がある者は対象者としなない）

ア 妊娠を予定又は希望している女性で、予防接種時において妊娠していない者

イ 妊娠を予定又は希望している女性の配偶者（婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者を含む）又は同居者※

ウ 妊娠をしている女性の配偶者又は同居者※

※昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を除く

(3) 実施期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(4) 助成回数及び助成内容

一人あたり1回、接種費用の助成上限5,000円

(5) 実績

(単位：人)

	風しん ワクチン	麻しん風しん 混合ワクチン
ア 妊娠を予定又は希望している女性で、予防接種時において妊娠していない者	4	6
イ 妊娠を予定又は希望している女性の配偶者(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者を含む)又は同居者	0	0
ウ 妊娠をしている女性の配偶者又は同居者	0	0

第3 献血推進事業

1 献血推進の歩み

- 昭和 27 年 日本赤十字社が血液銀行を設置し血液事業を開始
- 昭和 39 年 輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定
- 昭和 42 年 「碧南市健康を守る会」の発足と同時に献血部会をもうけて「碧南市献血グループ」結成
- 昭和 43 年 献血運動開始
- 昭和 46 年 「碧南市健康を守る会」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 47 年 愛知県献血推進協議会に加盟
- 昭和 48 年 健康を守る会で感謝状・記念品の贈呈開始（30回以上）
- 昭和 49 年 「預血制度」が廃止され、輸血用血液はすべて献血でまかない得る体制が確立
「市民献血グループ」厚生大臣賞受賞
- 昭和 52 年 「企業団体献血グループ」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 57 年 市民憲章推進協議会で感謝状・記念品の贈呈開始
- 昭和 61 年 400ml 献血と成分献血導入
- 平成 元年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は50回以上、市民憲章推進協議会は30回以上に変更
- 平成 6 年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は30回以上、市民憲章推進協議会は50回以上に変更
- 平成 9 年 感謝状・記念品の贈呈を市民憲章推進協議会は70回以上に変更
- 平成 19 年 市民憲章推進協議会の感謝状・記念品の贈呈事業の中止
- 令和 4 年 「市民献血グループ」愛知県知事表彰受賞

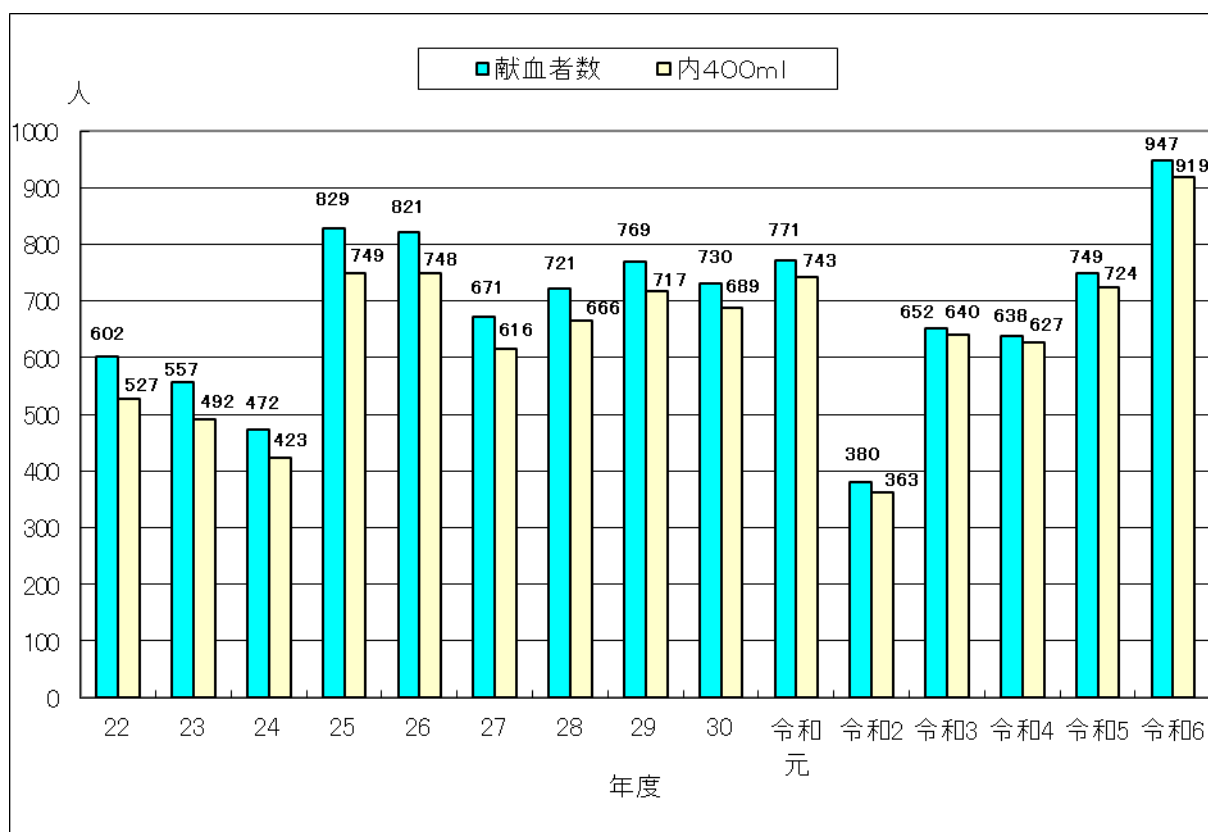
2 市民献血結果

(単位：人)

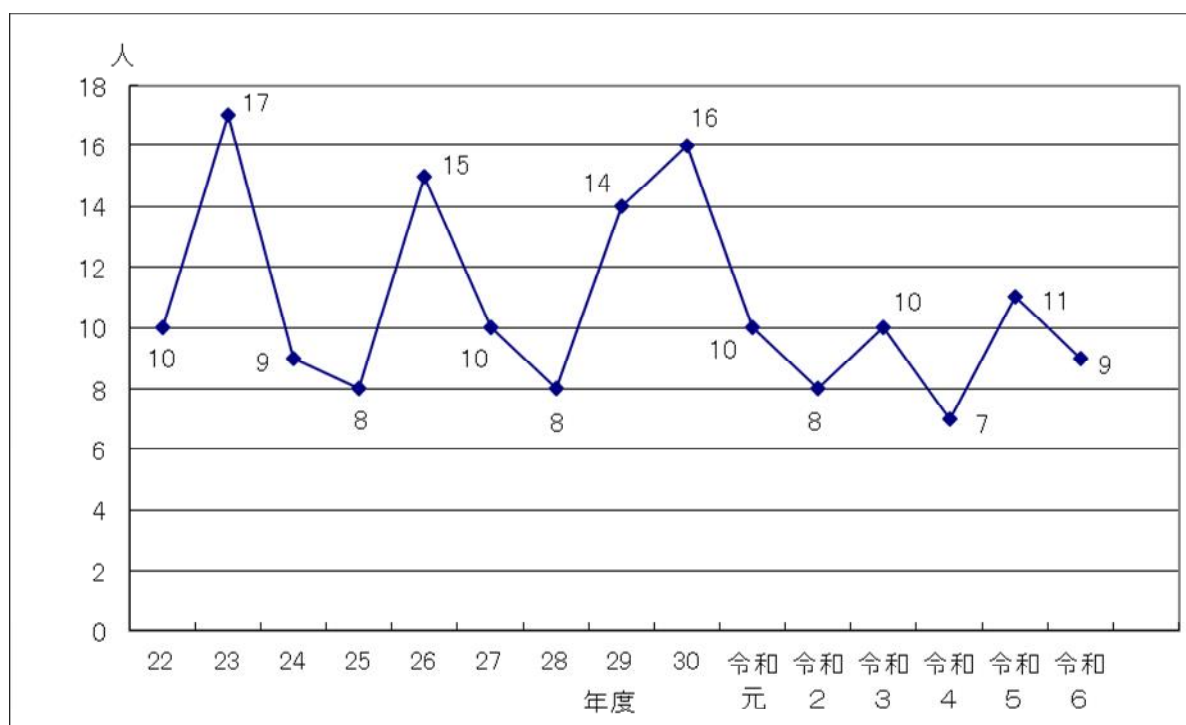
月・日 (曜日)	開催場所	受付	採血	内 400ml	内 200ml	不採血	備考
4月10日(水)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	24	21	21	0	3	企業献血
4月10日(水)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	46	37	36	1	9	企業献血
4月19日(金)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	21	17	17	0	4	企業献血
4月19日(金)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	42	35	35	0	7	企業献血
6月7日(金)	(株)豊田自動織機 碧南工場	107	90	90	0	17	企業献血
7月16日(火)	(株)JERA 碧南火力発電所	20	20	18	2	0	企業献血
7月17日(水)	碧南市役所 正面玄関	73	68	68	－	5	
8月26日(月)	碧南市立新川中学校	60	54	50	4	6	碧南市 教育委員会
9月6日(金)	日本コーンスターチ(株) 衣浦事業所	15	11	9	2	4	企業献血
9月6日(金)	愛知県中央信用組合 本店	39	34	31	3	5	
9月8日(日)	トヨタ自動車(株) 豊養会衣浦支部	105	96	96	0	9	企業献血
10月11日(金)	名古屋トヨペット(株) 碧南店	44	36	35	1	8	企業献血
11月12日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	25	24	23	1	1	企業献血
11月12日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	35	29	28	1	6	企業献血
11月13日(水)	碧南市役所 正面玄関	72	66	66	－	6	

月・日 (曜日)	開 催 場 所	受付	採血	内 400ml	内 200ml	不採血	備 考
11 月 19 日(火)	(株) アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	22	17	16	1	5	企業献血
11 月 19 日(火)	(株) アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	38	35	35	0	3	企業献血
12 月 25 日(水)	碧南市立新川中学校	40	35	31	4	5	碧南市 教育委員会
1 月 19 日(日)	碧南宮農センター	58	45	45	-	13	農業まつり
2 月 12 日(水)	日本コーンスターチ (株) 衣浦事業所	6	6	6	1	0	企業献血
2 月 12 日(水)	(株) J E R A 碧南火力発電所	19	18	18	0	1	企業献血
2 月 18 日(水)	スギ製菓 (株)	24	20	17	3	4	企業献血
3 月 7 日(金)	愛知県中央信用組合 本店	29	27	24	3	2	
3 月 9 日(日)	大浜漁港	40	34	33	1	6	大浜 港まつり
3 月 12 日(水)	碧南市役所 正面玄関	77	72	72	-	5	
	1 9 日 延べ2 5会場	1,081	947	919	28	134	

3 碧南市献血事業における献血年度推移



4 碧南市健康を守る会の年度別表彰者数



第4 成人保健事業

1 成人保健事業の歩み

(1) 健康手帳の交付

昭和57年 65歳以上の者に健康手帳の送付を開始

平成11年 健康手帳の送付を中止

(2) 健康教育事業

ア 市民健康教育講座

昭和52年 市民健康教育講座を開始

イ 食生活改善学級

昭和53年 碧南市保健衛生推進員地区活動として開始

平成6年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成10年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を隔年開催とする

ウ 健康づくりの集い

昭和59年 健康づくりの集いを開始

平成26年 健康づくりの集いを中止

エ 健康づくり体操講習会

平成元年 健康づくり体操講習会を開始

平成26年 健康づくり体操講習会を中止

オ 病態別健康教室

(ア) 貧血予防教室

平成7年 貧血予防のための栄養教室を開始

平成13年 貧血予防のための栄養教室を中止

(イ) 骨粗しょう症予防教室

平成7年 骨粗しょう症予防教室を開始

平成8年 骨コツ教室を開始

平成12年 骨粗しょう症予防教室を中止

平成15年 骨コツ教室を中止

(ウ) 高脂血症予防教室

平成7年 成人病予防（高脂血症予防）のための健康教室を開始

平成15年 高脂血症予防のための健康教室を中止、高脂血症個別健康教室を開始

(エ) 糖尿病予防教室

平成8年 糖尿病教室を開始

平成 13 年 糖尿病教室を中止、糖尿病個別健康教室を開始
平成 15 年 糖尿病個別健康教室を中止、糖尿病予防教室を実施
平成 16 年 糖尿病予防教室を中止、糖尿病個別健康教室を実施
平成 26 年 糖尿病予防プチ講座を開始
平成 27 年 糖尿病予防プチ講座をボディメンテナンス教室～糖尿病予防～に
変更し実施

(オ) 高血圧予防教室

平成 16 年 高血圧個別健康教室を開始

(カ) 生活習慣病予防教室

平成 18 年 高脂血症、糖尿病、高血圧を合わせて開始

平成 24 年 生活習慣病予防教室を中止

カ 女性の健康教室

平成 24 年 女性の健康教室を実施

キ 栄養教室

平成 9 年 中年男性のヘルシークッキング教室（男性のヘルシークッキング教室）
を開始

平成 15 年 60 歳以上の男性を対象とした「60 歳からの男性のヘルシークッキン
グ教室」を実施

平成 16 年 30 歳代から 40 歳代男性を対象とした「30 歳代から 40 歳代男性の
ヘルシークッキング教室」を実施

平成 17 年 男性対象の栄養教室を中止

平成 26 年 大人の食育講座を実施

平成 28 年 65 歳以上の男性対象に「男の料理塾」を開始

ク 健康づくり教室

平成 6 年 ウォーキング健康教室を開始

平成 13 年 ヘルシーウォーキング教室に名称変更し、水中プログラムを取り入れ実
施

平成 15 年 太極拳教室を実施

これから始める男性の運動教室～かつこいい！からだづくり～を実施

平成 28 年 スリムアップ教室実施（愛知県国民健康保険団体連合会健康体操普及事
業）を単年実施

ケ ゲートキーパー研修会

令和元年 へきなん自殺対策計画（平成 31 年 3 月策定）推進の一環として、ゲー

トキーパー研修を実施

(3) 健康相談事業

ア 病態別健康相談

昭和 57 年 成人病健診受診者を対象に、病態別栄養指導（集団指導）を開始

平成 3 年 病態別栄養指導を集団指導から個別指導に変更

イ いきいき健康相談

平成 4 年 いきいき健康相談を 7 公民館で月 1 回開始

平成 17 年 保健センターを会場に週 1 回実施に変更

ウ 糖尿病栄養相談

平成 14 年 糖尿病栄養相談を開始

エ こころの健康相談

平成 22 年 こころの健康相談を地域自殺対策緊急強化基金事業として開始

平成 26 年 こころの健康相談を中止

2 健康手帳の交付

(1) 目的

特定健康診査・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、健康管理と適切な医療に資することを目的とする。

(2) 配布場所

保健センター、市内指定医療機関

(3) 対象

40 歳以上の市民

(4) 交付数

40 から 74 歳 778 冊

75 歳以上 872 冊

3 市民健康教育講座

日にち	演 題	講 師	受講人数 (人)
7 月 30 日 (火)	人生会議、始めませんか ～在宅 医療から考える最期の過ごし方～	碧南市医師会 神谷 圭亮 氏	79

日にち	演 題	講 師	受講人数 (人)
8 月 27 日 (火)	認知症を正しく知ろう	碧南市看護師会 川上 都 氏	66
9 月 24 日 (火)	子宮頸癌ワクチンとがん生殖医療 の最新動向	名古屋大学高等研究院 YLC特任助教 伊吉 祥平 氏	42
10 月 22 日 (火)	セルフメディケーションとかかり つけ薬剤師	碧南市薬剤師会 森本 浩史 氏	44
11 月 26 日 (火)	お口の健康を維持するために	碧南歯科医師会 安達 仁 氏	48
12 月 17 日 (火)	大腸がんについて知ろう	碧南市民病院 木村 賢哉 氏	60
1 月 28 日 (火)	糖尿病についてのお話	碧南市医師会 鈴木 厚 氏	67

会場は市役所会議室 4・5

4 ボディメンテナンス教室～糖尿病予防～

(1) 目的

碧南市は特定健康診査の結果から、糖尿病に関連した有所見率が愛知県より男女とも高くなっている。糖尿病の発症・重症化予防を目的とし、糖尿病に関する正しい知識の提供、血糖値と関連の深い食習慣に重点をおいて生活習慣の改善を支援する。

(2) 場所

保健センター

(3) 時間

第1回 午後1時30分から3時30分

第2回 午前9時30分から12時30分

第3回 午前10時から12時

(4) 対象

碧南市の令和5年度特定健康診査・生活習慣病予防健診受診者のうち、HbA1c（NGSP値）6%から6.4%の70歳未満の服薬なしの者（個別通知）または血糖値が高めの一般成人の市民

(5) 日程・内容・参加人数

日 程	内容(講義と実技)	参加人数 (人)
7 月 4 日(木) 【1 回目】	・糖尿病とは(碧南市医師会 鈴木厚氏) ・歯周病と糖尿病の関係 ・オリエンテーション	20
7 月 26 日(金) 【2 回目】	・運動と休養について ・運動実践 ・血糖値を改善する食事 ・糖尿病予防のバランスランチ試食	19
個別面談【1 回目】	・ライフコーダ、食事調査の結果説明と目標設定	19
個別面談【2 回目】	・生活改善状況等の確認	18
電話相談【3 回目】	・生活改善状況等の確認	19
10 月 25 日(金) 【3 回目】	・糖尿病理解度チェック(グループワーク) ・間食について ・果物の適量(バイキング) ・振り返り	17

5 男の料理塾

(1) 目的

高齢男性の介護予防を目的とし、自分で簡単な料理ができることで自立した在宅生活を実現できるよう支援する。

(2) 場所

保健センター

(3) 時間

午前10時から12時30分

(4) 対象

65歳以上の男性市民

(5) 日程・内容・参加人数

	日 程	内 容	参加人数 (人)
1	12 月 18 日(水)	講話「食べて元気にフレイル予防・栄養バランスについて」など	3
2	1 月 22 日(水)	講話「糖尿病予防」 調理実習「ご飯の炊き方、みそ汁と基本のおかず」	5

	日 程	内 容	参加人数 (人)
3	2月19日(水)	講話「高血圧予防」 調理実習「魚の基本料理と野菜など」	5
4	3月12日(水)	講話「認知症予防」 調理実習「肉の基本料理と野菜など」	4

6 ゲートキーパー研修

へきなん自殺対策計画（令和6年3月策定）推進の一環として実施

日 時	対 象	参加人数 (人)
9月13日(金) 午後1時30分～3時30分	介護サービス機関連絡協議会	20
1月15日(水) 午後1時30分～3時30分	市職員	66
3月25日(火) 午後1時30分～3時30分	市民	26

講師 株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏
(プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー)

場所 市役所 会議室1および会議室4・5

7 他機関からの依頼による健康教室

種 別	実施回数 (回)	参加人数 (人)	担 当
職域出前講座等	2	76	保健師、栄養士
地域包括支援センター	6	101	保健師、栄養士、歯科衛生士
老人クラブ出前講座	5	177	保健師、栄養士、歯科衛生士
まちかどサロン	9	104	保健師
出前講座	9	170	保健師、栄養士、歯科衛生士
計	31	628	

8 健康相談

(1) 目的

心身の健康に関する個別の相談に応じ、健康管理に資することを目的とする。

(2) 内容・実施日

ア いきいき健康相談 毎週月曜日 午前9時から11時30分

イ 電話・面接・家庭訪問による相談 随時

(3) 実施状況

種 別	延人数（人）	実施回数（回）
いきいき健康相談	3	3
電話相談	57	随時
面接相談	19	
家庭訪問	5	

9 病態別健康相談

(1) 目的

生活習慣や食生活の改善等の相談に応じ、疾病の予防と健康の保持増進を図る。

(2) 実施日

毎週木曜日 午後1時から3時

(3) 対象

生活習慣病予防健診受診者、医療機関より紹介された者、相談希望者、特定保健指導対象者

(4) 従事者

管理栄養士、保健師

(5) 実施状況

主内容	相談者数(人)
肥 満	8
糖尿病	16
高血圧	6
脂質異常症	17
貧 血	1
高尿酸血症	1
肝臓病	0

主内容	相談者数(人)
腎臓病	3
消化器系	0
その他	7
計	59

10 糖尿病・高血圧栄養相談

(1) 目的

糖尿病・高血圧の発症・重症化による合併症予防を目的とし、糖尿病・高血圧に関する信頼性の高い知識の周知と、食生活を中心に生活習慣の改善を支援する。

(2) 実施日

毎月第2・4木曜日 午前9時から12時（相談者の状況により応相談）

(3) 対象

医療機関より紹介された者、相談希望者

碧南市の令和5年度特定健康診査のうち、HbA1c（NGSP 値）6.5%以上で服薬なしの者（個別通知）

碧南市の令和6年度特定健康診査のうち、収縮期血圧が130mmHg以上で服薬なしの者（個別通知）

(4) 内容

糖尿病・高血圧個別栄養相談、食事調査

(5) 従事者

管理栄養士

(6) 実施状況

（単位：人）

	相談動機						計	
	広報等		医療機関紹介		個人通知			
	新規	再来	新規	再来	新規	再来	新規	再来
人数	3	3	2	2	16	16	21	21

11 生活習慣病予防健診事業

(1) 生活習慣病予防健診の歩み

昭和42年 結核住民健診と併せて、成人病健診として公民館で開始

昭和52年 保健センターで成人病健診を開始

40歳無料健診を開始

- 昭和 57 年 新保健センターで成人病健診を実施。受診者に、医師による個別指導を開始
- 昭和 58 年 保健衛生推進員の体験受診を開始
- 昭和 59 年 50歳半額健診を開始
- 昭和 60 年 超音波検査による乳腺検診を開始
- 昭和 62 年 婦人総合健診（乳腺検診及び婦人健診）を開始
- 昭和 63 年 腹部超音波検査を開始
- 平成 2 年 デジタル乳房撮影による乳がん検診を開始
- 平成 7 年 骨粗しょう症検診を開始
- 平成 10 年 超音波検査による乳腺検診を中止
- 平成 14 年 前立腺がん検診を開始
- 平成 16 年 マンモグラフィによる乳がん検診に変更
脳ドック検診を開始
- 平成 17 年 生活習慣病予防健診に名称変更
女性専用日健診として、乳がん検診を併せて実施
- 平成 18 年 女性専用日健診に、子宮頸がん検診を追加実施
乳がん検診を公民館等で実施
- 平成 25 年 婦人健診を中止
- 平成 27 年 生活習慣病予防健診を碧南市医師会臨床検査センターへ委託
胃がんリスク検査を開始

(2) 生活習慣病予防健診コース別検査項目

検査内容	コース別	Aコース	Bコース	Cコース (30歳以上)	Eコース (腹部超音波)	婦人総合健診 (子宮がん・乳がん)	乳がん 検診	胃がん リスク検査	骨粗鬆症 検診	前立腺 がん検診	脳ドック
尿検査		○	○	○		○					
問診		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科診察			○	○							
身体測定		○	○	○	○	○			○		○
腹囲測定		○	○	○							
視力測定		○	○	○		○					
血圧測定		○	○	○		○					○
貧血検査		○	○	○		○					
血液生化学検査		○	○	○							
聴力検査			○	○							
心電図検査			○	○							
肺機能検査			○	○							
眼圧検査			○	○							
眼底撮影			○	○							
胸部X線撮影		○	○	○							
胃部X線撮影				○							
便潜血			○	○							
スメアテスト(子宮がん)						○					
腹部超音波					○						
ピロリ菌抗体検査								○			
血清ペプシノーゲン検査								○			
乳がん検診(X線検査)						○	○				
骨密度測定									○		
前立腺がん検診(PSA)										○	
頭部MRI											○
頭部MRA											○
頸椎MRI											●
VSRAD											●

*脳ドックの●は、選択項目

(3) コース別・性別・年齢別内訳

(男)

単位：人

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	骨粗しょう 症検診	前立腺がん 検診	脳ドック 検診	計	
									人	%
20歳未満	1	2	—	0	0	0	—	0	3	0.2
20～29歳	7	42	—	9	2	3	—	0	63	3.7
30～39歳	3	31	22	13	1	2	—	0	72	4.3
40～49歳	2	30	73	54	8	7	—	8	182	10.7
50～59歳	3	28	93	81	9	12	48	24	298	17.6
60～69歳	1	59	124	133	3	21	109	24	474	28.0
70歳以上	1	70	130	179	—	51	148	22	601	35.5
計	18	262	442	469	23	96	305	78	1,693	100.0

(女)

単位：人

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	婦人総合健 診	乳がん検診	骨粗しょう 症検診	脳ドック 検診	計	
										人	%
20歳未満	0	1	—	0	0	—	—	0	0	1	0.0
20～29歳	5	33	—	13	3	2	9	1	0	66	2.3
30～39歳	14	63	28	36	9	10	52	23	0	235	8.1
40～49歳	2	95	106	98	16	20	189	25	22	573	19.7
50～59歳	7	98	127	142	14	30	175	44	22	659	22.7
60～69歳	4	129	111	183	6	37	205	70	34	779	26.8
70歳以上	5	73	97	145	—	14	165	61	32	592	20.4
計	37	492	469	617	48	113	795	224	110	2,905	100.0

ア 40歳の無料健診（B・Cコース）を 941人、

イ 50歳の半額健診（B・Cコース）を1,027人に案内

40歳 受診者数：男性21人・女性70人・計91人で9.7%受診

50歳 受診者数：男性23人・女性36人・計59人で5.7%受診

ウ ヘルスキーパー、連絡委員に生活習慣病予防健診の受診を通して、市民への健診の普及啓発施策としてB・Cコースの無料体験受診を実施

ヘルスキーパー Bコース3人・Cコース19人・計22人受診

連絡委員 Bコース2人・Cコース 9人・計11人受診

(4) コース別・性別・判定別内訳

ア Aコース（実施回数41回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	12	0	2	3	0	2	0	7	0	2	2	1	0	0	5
30～39歳	17	1	0	1	1	0	0	3	1	3	6	4	0	0	14
40～49歳	4	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	2
50～59歳	10	0	0	1	2	0	0	3	0	0	3	3	1	0	7
60～69歳	5	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	4
70歳以上	6	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3	1	0	5
計	55	1	2	6	6	2	1	18	1	5	13	15	2	1	37

イ Bコース（実施回数73回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	3	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1
20～29歳	75	3	9	19	10	0	1	42	2	10	11	10	0	0	33
30～39歳	94	1	3	12	13	1	1	31	0	10	25	26	0	2	63
40～49歳	125	0	1	12	17	0	0	30	2	10	45	31	0	7	95
50～59歳	126	0	1	1	19	1	6	28	0	4	44	37	1	12	98
60～69歳	188	0	0	14	40	0	5	59	2	1	52	48	1	25	129
70歳以上	143	0	0	9	25	2	34	70	0	0	22	31	1	19	73
計	754	4	15	68	124	4	47	262	6	36	199	183	3	65	492

ウ Cコース（実施回数73回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
30～39歳	50	0	3	6	13	0	0	22	1	7	14	5	0	1	28
40～49歳	179	0	0	35	34	0	4	73	0	8	49	41	2	6	106
50～59歳	220	0	0	36	42	2	13	93	0	3	52	55	2	15	127
60～69歳	235	0	0	29	58	3	34	124	0	0	36	50	0	25	111
70歳以上	227	0	0	29	55	2	44	130	0	0	29	41	0	27	97
計	911	0	3	135	202	7	95	442	1	18	180	192	4	74	469

< A・B・Cコースの判定 >

A：今回の検査の範囲内では、異常は認められません。

B：僅かな異常を認めますが、日常生活に支障ありません。

C：僅かな異常があり、日常生活上注意が必要です。

D：精密検査のため、または治療のため医師にかかってください。

E：異常が認められます。すぐ医師にかかってください。

F：治療中

エ 胸部レントゲン決定判定区分（A・B・Cコース）

（単位：人）

年齢		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		計		総計
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
決定判定区分	B	3	1	49	36	56	104	102	193	116	219	175	219	173	155	674	927	1,601
	C	0	0	0	0	0	0	0	2	5	4	6	14	22	12	33	32	65
	D 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
	D 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
	D 4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	3
	E 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3	1	49	37	56	104	102	195	121	224	182	234	198	167	711	962	1,673

オ 婦人総合健診（実施回数6回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	総 合 判 定				ベセスダシステム				
		1	2	3	4	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0
30～39歳	10	4	3	2	1	9	1	0	0	0
40～49歳	20	6	10	0	4	19	1	0	0	0
50～59歳	30	10	11	4	5	29	1	0	0	0
60～69歳	37	20	12	1	4	37	0	0	0	0
70歳以上	14	6	2	5	1	14	0	0	0	0
計	113	47	38	12	16	109	3	0	1	0

総合判定 1：異常なし 2：経過観察 3：再検査 4：精密検査

ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

カ 女性専用日 子宮がん検診（実施回数16回）（単位：人）

判定 年齢別	総 数	ベセスダシステム				
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	4	4	0	0	0	0
30～39歳	39	38	1	0	0	0
40～49歳	111	108	2	0	1	0
50～59歳	102	101	1	0	0	0
60～69歳	110	109	1	0	0	0
70歳以上	70	70	0	0	0	0
計	436	430	5	0	1	0

ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

キ Eコース（腹部超音波検査）（実施回数78回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		異常なし	放置可	要観察	要精検	計	異常なし	放置可	要観察	要精検	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	22	5	0	4	0	9	7	0	6	0	13
30～39歳	49	4	1	8	0	13	21	0	14	1	36
40～49歳	152	15	0	35	4	54	45	0	45	8	98
50～59歳	223	14	1	62	4	81	32	3	105	2	142
60～69歳	316	17	0	107	9	133	35	0	138	10	183
70歳以上	324	12	1	153	13	179	18	0	118	9	145
計	1,086	67	3	369	30	469	158	3	426	30	617

ク 骨粗しょう症検診（実施回数85回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性				女 性			
		A	B	C	計	A	B	C	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	4	2	1	0	3	1	0	0	1
30～39歳	25	1	1	0	2	17	5	1	23
40～49歳	32	4	3	0	7	20	5	0	25
50～59歳	56	6	6	0	12	25	15	4	44
60～69歳	91	10	9	2	21	19	36	15	70
70～79歳	96	23	16	4	43	11	26	16	53
80歳以上	16	4	4	0	8	1	6	1	8
計	320	50	40	6	96	94	93	37	224

A：異常なし B：要指導 C：要再検査

ケ 前立腺がん検診（実施回数 5 5 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	P S A 測 定 値		
		4未満	4以上	(10以上)
50～59歳	48	47	1	(0)
60～69歳	109	102	7	(1)
70歳以上	148	136	12	(0)
計	305	285	20	(1)

P S A測定値 4 以上：要精密検査

コ 胃がんリスク検査（実施回数 4 3 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	5	2	0	0	0	2	3	0	0	0	3
30～39歳	10	1	0	0	0	1	8	1	0	0	9
40～49歳	24	7	1	0	0	8	11	3	2	0	16
50～59歳	23	8	0	0	1	9	11	1	2	0	14
60～64歳	9	2	1	0	0	3	4	2	0	0	6
計	71	20	2	0	1	23	37	7	4	0	48

A：異常なし B・C・D：要精密検査

サ 乳がん検診（実施回数 31 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	異 常 な し	要 精 検	要精検カテゴリー				
				①	②	③	④	⑤
20～29歳	9	6	3	1		2		
30～39歳	52	49	3	2		1		
40～49歳	189	177	12	3		9		
50～59歳	175	166	9			9		
60～69歳	205	200	5			5		
70歳以上	165	161	4	1		3		
計	795	759	36	7		29		

シ 脳ドック検診

（単位：人）

判定 年齢別	総数	男 性						女 性					
		A	B	C	D	E	計	A	B	C	D	E	計
40～49歳	30	4	4	0	0	0	8	10	6	1	5	0	22
50～59歳	46	6	9	1	8	0	24	4	9	2	7	0	22
60～69歳	58	2	10	6	6	0	24	4	20	3	7	0	34
70～79歳	42	0	8	4	7	0	19	0	12	3	8	0	23
80歳以上	12	0	1	2	0	0	3	1	2	1	5	0	9
計	188	12	32	13	21	0	78	19	49	10	32	0	110

<脳ドック検診の判定>

A：検査では異常は認められません。

B：わずかな異常は認められましたが、日常生活には差し支えがありません。

C：日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。

D：専門医の診察を必要とします。

E：治療中

(5) 各コースの要精密検査受診状況（令和7年5月1日現在）

ア コース別受診者及び精密検査受診状況

（単位：人）

コース	受診者	精密検査 対象者	精密検査 受診者	精密検査受診結果					
				異常なし	通院治療	入院治療	経過観察	他院へ紹介	ピロリ菌 除菌
A	55	25	9	1	7		1		0
B	754	263	150	36	35		75	4	0
C	911	301	177	23	65		89		0
（胸部X線（肺野））	（1,673）	5	3				3		0
（胃透視）	（911）	71	52	8	14		27		3
（胃がんリスク検査）	（71）	14	2	1	1				0
（女性専用子宮がん検診）	（436）	31	15	9	1		5		0
（子宮がん検診細胞診）	（436）	6	4				4		0
E	1,086	57	39	6	3		28	2	0
婦人総合健診	113	28	3		1		2		0
（婦人総合健診細胞診）	（113）	4	1				1		0
乳がん検診	795	36	28	19			9		0
骨粗しょう症検診	320	43	22	4	9		9		0
前立腺がん検診	305	20	12		5		7		0
脳ドック検診	188	69	24	6	4		14		0

がん発見者 前立腺がん1人

イ 便潜血反応検査（B・Cコース）

（単位：人）

提出数		陽性者		精検受診者		精検受診結果	
男	女	男	女	男	女	異常なし	異常あり
673	913	42	50	27	29	13	43
1,586		92		56			

がん発見者 大腸がん2人

ウ 肝炎ウイルス検査（A・B・Cコース）

(7) B型肝炎検査（単位：人）

検査者数	陽性者数
237	0

(4) C型肝炎検査（単位：人）

検査者数	陽性者数
237	0

1 2 医療機関委託等の健康診査事業

(1) 個別方式の健康診査事業の歩み

- 昭和 58 年 老人保健法による子宮がん検診(30 歳以上)、胃がん検診(40 歳以上) 開始
- 昭和 63 年 肺がん検診(40 歳以上)、乳がん検診(30 歳以上)、子宮体がん検診(30 歳以上) 開始
- 平成 2 年 大腸がん検診(40 歳以上) 開始
- 平成 14 年 肝炎ウイルス検診(40 歳以上) 開始
- 平成 16 年 前立腺がん検診(50 歳以上) 開始
子宮がん検診の対象年齢を 20 歳以上に変更
- 平成 20 年 健康増進法に基づく事業としてがん検診実施
個別方式の乳がん検診(マンモグラフィ・40 歳以上) 実施
- 平成 22 年 碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式に併せて、
胃・肺・大腸・前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を開始
- 平成 23 年 ヒトパピローマウイルス検査を開始
- 令和 2 年 子宮・乳がん検診を通年実施
- 令和 4 年 乳がん検診に超音波検査を開始

(2) 個別方式の健康診査事業の概要

ア 実施内容

がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん)、肝炎ウイルス検診(B・C型肝炎ウイルス検査) *特定健康診査等と同時実施

種 別	内 容	対象年齢
胃がん検診	胃部X線写真撮影	40 歳以上
肺がん検診 (結核の検査を含みます)	胸部X線写真撮影 喀痰検査：医師が必要と認めた場合	
大腸がん検診	便潜血反応検査	
乳がん検診	乳房X線写真撮影(マンモグラフィ)・医師による 視触診・自己触診法の説明	20 歳以上
	乳房超音波(エコー)検査・医師による視触診・自 己触診法の説明	
前立腺がん検診	前立腺特異抗原(PSA)値測定(血液検査) 触診：医師が必要と認めた場合	50 歳以上

子宮がん検診		20歳以上
子宮頸部がん検診	内診・子宮頸部の細胞診	
子宮体部がん検診	体部細胞診：頸部検診で医師が必要と認めた場合	
ヒトパピローマウイルス検査	HPV検査（希望者のみ有料） ＊子宮頸部がん検診に併せて実施	

イ 実施期間

令和6年6月1日（土）から令和6年11月30日（土）

ウ 実施医療機関

碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関

医療機関名	住 所	特定健診・肝 炎ウイルス	が ん 検 診					
			胃	肺	大腸	子宮	乳	前立腺
岡 村 産 科 婦 人 科	沢渡町 29	●				◎	◎	
長 田 医 院	源氏町 4-36	○	○	○	○			○
加 藤 病 院	松本町 158	○	○	○	○			○
上 平 医 院	野田町 52	○		○	○			○
小 林 記 念 病 院	新川町 3-88	○	○	○	○	◎	◎	○
小 林 ク リ ニ ッ ク	立山町 1-10	○		○	○			○
さ か べ 医 院	志貴町 2-86	○	○	○	○			○
作塚杉浦クリニック	作塚町 3-10	○	○	○	○			○
新 川 中 央 病 院	松江町 6-83	○	○	○	○			○
杉 浦 医 院	音羽町 2-6	○		○	○			○
にしばたクリニック	札木町 2-74	○	○	○	○			○
原 田 医 院	湖西町 1-50	○	○	○	○			○
碧 南 市 民 病 院	平和町 3-6						◎	
へきなん中央クリニック	栄町 1-44	○		○	○			○
堀 尾 医 院	新川町 5-108	○	○	○	○			○
みどりの森クリニック	向陽町 1-41	○	○	○	○			○
もぎ内科クリニック	中山町 1-25	○	○	○	○			○
山 中 従 天 医 館	東浦町 2-85	○	○	○	○			○
わしづかクリニック	旭町 4-32-1	○	○	○	○			○

◎印は、令和7年3月31日まで実施、●印は、肝炎ウイルス検診のみ実施

(3) 集団方式の健康診査事業

ア 実施内容

がん検診（胃・肺・大腸・前立腺がん）、肝炎ウイルス検診（Ｂ・Ｃ型肝炎ウイルス検査）

＊特定健康診査等と同時実施、胃がん検診は(3)イ(イ)土曜日特定健康診査のみ実施

イ 実施日・場所

(ア) 巡回特定健康診査

令和6年8月 8日(木) 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

令和6年8月27日(火) 南部市民プラザ

令和6年8月30日(金) 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(イ) 土曜日特定健康診査

令和7年1月18日(土)・1月25日(土)

ウ 実施機関

碧南市医師会臨床検査センター

(4) 各検診結果（令和7年5月1日現在）

ア がん検診

(7) 胃がん検診

a 医療機関委託分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	31	66	176	866	1,139
	要精検者数	1	3	7	38	49
	精検受診者数	0	3	4	24	31
	異常なし	0	0	0	1	1
	がん以外の疾患	0	3	4	23	30
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	57	69	181	700	1,007
	要精検者数	1	1	8	21	31
	精検受診者数	1	1	6	16	24
	異常なし	0	0	1	2	3
	がん以外の疾患	1	1	5	13	20
	が ん	0	0	0	1	1
計	受診者数	88	135	357	1,566	2,146
	要精検者数	2	4	15	59	80
	精検受診者数	1	4	10	40	55
	異常なし	0	0	1	3	4
	がん以外の疾患	1	4	9	36	50
	が ん	0	0	0	1	1

b 集団健診分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	1	4	5	9	19
	要精検者数	0	0	0	1	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	1	0	3	1	5
	要精検者数	0	0	1	0	1
	精検受診者数	0	0	1	0	1
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	1	0	1
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	2	4	8	10	24
	要精検者数	0	0	1	1	2
	精検受診者数	0	0	1	0	1
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	1	0	1
	が ん	0	0	0	0	0

(イ) 肺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	70	110	410	2,508	3,098
	X線判定E	0	1	9	24	34
	(再) 喀痰細胞診受診	4	6	26	278	314
	判定D・E	0	0	0	2	2
	要精検者数	0	1	13	58	72
	精検受診者数	0	1	10	47	58
	異常なし	0	0	4	10	14
	がん以外の疾患	0	1	5	32	38
	が ん	0	0	1	5	6
女	受診者数	98	154	529	3,190	3,971
	X線判定E	0	1	3	36	40
	(再) 喀痰細胞診受診	1	8	16	134	159
	判定D・E	0	0	0	0	0
	要精検者数	0	2	6	75	83
	精検受診者数	0	2	5	56	63
	異常なし	0	0	2	19	21
	がん以外の疾患	0	2	3	33	38
	が ん	0	0	0	4	4
計	受診者数	168	264	939	5,698	7,069
	X線判定E	0	2	12	60	74
	(再) 喀痰細胞診受診	5	14	42	412	473
	判定D・E	0	0	0	2	2
	要精検者数	0	3	19	133	155
	精検受診者数	0	3	15	103	121
	異常なし	0	0	6	29	35
	がん以外の疾患	0	3	8	65	76
	が ん	0	0	1	9	10

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	9	17	8	10	44
	要精検者数	0	0	0	0	0
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	8	12	6	7	33
	要精検者数	0	0	0	0	0
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	17	29	14	17	77
	要精検者数	0	0	0	0	0
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0

(ウ) 大腸がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	61	87	317	1,866	2,331
	要精検者数	4	4	28	225	261
	便潜血(+)者数	4	4	28	225	261
	精検受診者数	2	2	16	111	131
	異常なし	1	0	2	18	21
	がん以外の疾患	1	2	14	84	101
	が ん	0	0	0	9	9
女	受診者数	88	140	437	2,144	2,809
	要精検者数	3	3	19	185	210
	便潜血(+)者数	3	3	19	185	210
	精検受診者数	1	2	10	101	114
	異常なし	0	0	2	24	26
	がん以外の疾患	1	2	8	66	77
	が ん	0	0	0	11	11
計	受診者数	149	227	754	4,010	5,140
	要精検者数	7	7	47	410	471
	便潜血(+)者数	7	7	47	410	471
	精検受診者数	3	4	26	212	245
	異常なし	1	0	4	42	47
	がん以外の疾患	2	4	22	150	178
	が ん	0	0	0	20	20

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	11	17	7	10	45
	要精検者数	1	3	0	1	5
	便潜血（+）者数	1	3	0	1	5
	精検受診者数	1	2	0	0	3
	異常なし	1	0	0	0	1
	がん以外の疾患	0	2	0	0	2
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	7	12	6	7	32
	要精検者数	0	1	1	0	2
	便潜血（+）者数	0	1	1	0	2
	精検受診者数	0	0	1	0	1
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	1	0	1
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	18	29	13	17	77
	要精検者数	1	4	1	1	7
	便潜血（+）者数	1	4	1	1	7
	精検受診者数	1	2	1	0	4
	異常なし	1	0	0	0	1
	がん以外の疾患	0	2	1	0	3
	が ん	0	0	0	0	0

(エ) 子宮がん検診

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
頸部受診者数	209	287	405	315	220	244	1,680
ASC-US以上	21	9	13	7	6	4	60
(再)体部受診	1	6	23	37	10	4	81
疑陽性以上	0	0	0	0	0	0	0
要精検者数	21	10	15	9	7	5	67
精検受診者数	11	5	10	3	4	3	36
異常なし	2	1	3	1	1	2	10
がん以外の疾患	9	4	7	2	3	1	26
が ん	0	0	0	0	0	0	0

a ヒトパピローマウイルス検査結果

(単位：人)

年齢	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		合 計	
HPV ベセスダ	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
NILM	13	29	9	71	4	86	3	66	2	20	0	11	31	283
ASC-US	1	0	1	1	2	2	0	1	0	1	0	0	4	5
ASC-H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
LSIL	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
HSIL	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
AGC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	29	10	72	6	89	3	67	3	21	0	11	36	289
	43		82		95		70		24		11		325	

(オ) 乳がん検診

a マンモグラフィ検査結果

(単位：人)

年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	148	159	174	211	692
要精検者数	26	15	10	10	61
精検受診者数	17	11	6	9	43
異常なし	7	5	3	5	20
がん以外の疾患	10	6	2	4	22
が ん	0	0	1	0	1

b 超音波検査結果

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	104	248	138	104	80	175	849
要精検者数	9	15	17	12	2	8	63
精検受診者数	7	11	8	8	1	5	40
異常なし	2	1	0	3	1	2	9
がん以外の疾患	5	10	8	4	0	3	30
が ん	0	0	0	1	0	0	1

(カ) 前立腺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	3	179	400	2,381	2,963
要精検者数	0	4	20	183	207
精検受診者数	0	1	11	113	125
異常なし	0	1	4	30	35
がん以外の疾患	0	0	7	72	79
が ん	0	0	0	11	11

b 集団健診分

(単位：人)

年 齢	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	15	5	11	31
要精検者数	0	0	1	1
精検受診者数	0	0	1	1
異常なし	0	0	0	0
がん以外の疾患	0	0	1	1
が ん	0	0	0	0

イ 肝炎ウイルス検診

(ア) B型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分 検査結果

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	27	34	23	88	182	354
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	27	34	23	88	182	354
女	陰 性	37	27	32	110	187	393
	陽 性	0	0	0	1	1	2
	合 計	37	27	32	111	188	395
計	陰 性	64	61	55	198	369	747
	陽 性	0	0	0	1	1	2
	合 計	64	61	55	199	370	749

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	1	1	2
	精検受診者数	0	0	1	1	2
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	1	1	2
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	1	1	2
	精検受診者数	0	0	1	1	2
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	1	1	2
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	0	4	5	2	0	11
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	4	5	2	0	11
女	陰 性	0	6	3	0	0	9
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	6	3	0	0	9
計	陰 性	0	10	8	2	0	20
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	10	8	2	0	20

(イ) C型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	2	2
	判 定 4	0	0	0	0	2	2
	判 定 5	27	35	23	88	176	349
	合 計	27	35	23	88	180	353
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	1	0	0	0	0	1
	判 定 4	0	0	0	1	2	3
	判 定 5	36	27	32	112	184	391
	合 計	37	27	32	113	186	395
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	1	0	0	0	2	3
	判 定 4	0	0	0	1	4	5
	判 定 5	63	62	55	200	360	740
	合 計	64	62	55	201	366	748

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	4	5	2	0	11
	合 計	0	4	5	2	0	11
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	6	3	0	0	9
	合 計	0	6	3	0	0	9
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	10	8	2	0	20
	合 計	0	10	8	2	0	20

第5 特定健康診査等

1 特定健康診査等の歩み

- 平成20年 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査を開始
介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に生活機能評価を
同時実施
- 平成22年 後期高齢者医療広域連合加入者に医師が必要と認める詳細な項目を実施
碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式を開始
- 平成25年 生活機能評価は廃止、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていな
い者に介護予防のための基本チェックリストを同時実施
- 平成27年 介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に介護予防のため
の基本チェックリストを廃止
- 令和2年 後期高齢者医療広域連合加入者にフレイル状態に着目した「後期高齢者の質
問票」を導入

2 特定健康診査等の概要

(1) 対象

- ア 碧南市国民健康保険加入者で年度内に40歳から74歳に達する者
- イ 後期高齢者医療広域連合加入者
- ウ 碧南市在住の生活保護受給者で40歳以上の者
- ※ 高齢者の医療の確保に関する法律第55条第1項第2号から第5号までに規定
する施設に入所している者は対象外

(2) 実施期間・場所

- ア 医療機関委託
令和6年6月1日（土）から令和6年11月30日（土）
碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関（74ページを参照）
- イ 生活習慣病予防健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）
通年 保健センター
- ウ 集団健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）

(ア) 巡回特定健康診査

- 令和6年8月 8日（木） 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）
- 令和6年8月27日（火） 南部市民プラザ
- 令和6年8月30日（金） 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(4) 土曜日特定健康診査

令和7年1月18日(土)・1月25日(土)

碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(3) 検査項目

ア 基本的な項目

(7) 問診：現病・既往歴・生活習慣等

(4) 身体測定：身長・体重・腹囲・BMI

(ウ) 理学的所見：聴打診・触診

(エ) 血圧測定

(オ) 尿検査（糖・蛋白・潜血）

(カ) 血液検査：脂質（HDL・LDLコレステロール、中性脂肪（空腹時または随時））

肝機能（GOT・GPT・ γ -GTP）

血糖（空腹時または随時）、ヘモグロビンA1c

アルブミン、e-GFR、尿酸

イ 医師が必要と認める詳細な項目

(7) 貧血検査：赤血球・血色素量・ヘマトクリット

(4) 心電図検査（標準12誘導心電図）

(ウ) 眼底検査（無散瞳又は散瞳型カメラによる眼底写真撮影）

(エ) クレアチニン

3 健康診査受診者数状況

(1) 医療機関委託分

(単位：人)

		男	女	合計	詳細健診再掲								
					貧血検査			心電図検査			眼底検査		
					男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
国保	40～64歳	378	505	883	351	481	832	355	485	840	109	180	289
	65～74歳	1,103	1,230	2,333	1,016	1,124	2,140	1,078	1,191	2,269	287	301	588
	小計	1,481	1,735	3,216	1,367	1,605	2,972	1,433	1,676	3,109	396	481	877
後期高齢者		1,811	2,391	4,202	1,679	2,182	3,861	1,759	2,328	4,087	369	471	840
生活保護受給者		15	22	37	14	19	33	15	21	36	5	6	11
合計		3,307	4,148	7,455	3,060	3,806	6,866	3,207	4,025	7,232	770	958	1,728

(2) 生活習慣病予防健診分 (単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	114	147	261
	65～74歳	161	165	326
	合計	275	312	587

(3) 集団健診分

(単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	45	40	85
	65～74歳	19	19	38
	合計	64	59	123

4 医療機関委託分 健診結果

(1) 国民健康保険加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	80	5.4	397	26.8	220	14.9	784	52.9	0	0.0	1,481	100.0
	女	124	7.1	516	29.8	232	13.4	863	49.7	0	0.0	1,735	100.0
	合計	204	6.3	913	28.4	452	14.1	1,647	51.2	0	0.0	3,216	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 後期高齢者医療広域連合加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	43	2.3	374	20.7	279	15.4	1,115	61.6	0	0.0	1,811	100.0
	女	82	3.4	522	21.9	311	13.0	1,476	61.7	0	0.0	2,391	100.0
	合計	125	3.0	896	21.3	590	14.0	2,591	61.7	0	0.0	4,202	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活保護受給者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	1	6.7	4	26.7	2	13.3	8	53.3	0	0.0	15	100.0
	女	0	0.0	4	18.2	1	4.5	17	77.3	0	0.0	22	100.0
	合計	1	2.7	8	21.6	3	8.1	25	67.6	0	0.0	37	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

5 碧南市国民健康保険加入者 特定健康診査結果

(1) 令和6年度分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64歳	男	162	30.2	96	17.9	278	51.7	1	0.2	537	100.0
	女	90	13.0	43	6.2	558	80.6	1	0.2	692	100.0
	小計	252	20.5	139	11.3	836	68.0	2	0.2	1,229	100.0
65～74歳	男	548	42.7	226	17.6	507	39.5	2	0.1	1,283	100.0
	女	255	18.0	99	7.0	1,060	75.0	0	0.0	1,414	100.0
	小計	803	29.8	325	12.1	1,567	58.1	2	0.1	2,697	100.0
合計		1,055	26.9	464	11.8	2,403	61.2	4	0.1	3,926	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64歳	男	87	16.2	48	9.0	130	24.2	263	49.1	8	1.5	536	100.0
	女	27	3.9	41	5.9	108	15.6	512	73.9	5	0.7	693	100.0
	小計	114	9.3	89	7.2	238	19.4	775	63.0	13	1.1	1,229	100.0
65～74歳	男	-	-	162	12.6	615	47.9	483	37.7	23	1.8	1,283	100.0
	女	-	-	90	6.4	347	24.5	964	68.2	13	0.9	1,414	100.0
	小計	-	-	252	9.3	962	35.7	1,447	53.7	36	1.3	2,697	100.0
合計		114	3.0	341	8.6	1,200	30.6	2,222	56.6	49	1.2	3,926	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 医療機関委託分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	122	32.3	67	17.7	188	49.7	1	0.3	378	100.0
	女	75	14.9	39	7.7	390	77.2	1	0.2	505	100.0
	小計	197	22.3	106	12.0	578	65.5	2	0.2	883	100.0
65～74 歳	男	498	45.1	196	17.8	407	36.9	2	0.2	1,103	100.0
	女	239	19.4	94	7.7	897	72.9	0	0.0	1,230	100.0
	小計	737	31.6	290	12.4	1,304	55.9	2	0.1	2,333	100.0
合計		934	29.0	396	12.3	1,882	58.5	4	0.2	3,216	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	58	15.4	35	9.3	101	26.8	175	46.4	8	2.1	377	100.0
	女	21	4.2	31	6.1	89	17.6	360	71.1	5	1.0	506	100.0
	小計	79	8.9	66	7.5	190	21.5	535	60.6	13	1.5	883	100.0
65～74 歳	男	-	-	141	12.8	548	49.7	391	35.4	23	2.1	1,103	100.0
	女	-	-	80	6.5	323	26.2	815	66.3	12	1.0	1,230	100.0
	小計	-	-	221	9.5	871	37.3	1,206	51.7	35	1.5	2,333	100.0
合計		79	2.4	287	8.9	1,061	33.0	1,741	54.2	48	1.5	3,216	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活習慣病予防健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	24	21.0	19	16.7	71	62.3	0	0.0	114	100.0
	女	10	6.8	3	2.0	134	91.2	0	0.0	147	100.0
	小計	34	13.0	22	8.4	205	78.6	0	0.0	261	100.0
65～74 歳	男	46	28.6	27	16.8	88	54.6	0	0.0	161	100.0
	女	15	9.1	4	2.4	146	88.5	0	0.0	165	100.0
	小計	61	18.7	31	9.5	234	71.8	0	0.0	326	100.0
合計		95	16.2	53	9.0	439	74.8	0	0.0	587	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	21	18.4	7	6.2	17	14.9	69	60.5	0	0.0	114	100.0
	女	3	2.0	7	4.8	15	10.2	122	83.0	0	0.0	147	100.0
	小計	24	9.2	14	5.4	32	12.2	191	73.2	0	0.0	261	100.0
65～74 歳	男	-	-	20	12.4	60	37.3	81	50.3	0	0.0	161	100.0
	女	-	-	9	5.5	22	13.3	133	80.6	1	0.6	165	100.0
	小計	-	-	29	8.9	82	25.2	214	65.6	1	0.3	326	100.0
合計		24	4.1	43	7.3	114	19.4	405	69.0	1	0.2	587	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(4) 集団健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	16	35.6	10	22.2	19	42.2	0	0.0	45	100.0
	女	5	12.5	1	2.5	34	85.0	0	0.0	40	100.0
	小計	21	24.7	11	12.9	53	62.4	0	0.0	85	100.0
65～74 歳	男	4	21.0	3	15.8	12	63.2	0	0.0	19	100.0
	女	1	5.3	1	5.3	17	89.4	0	0.0	19	100.0
	小計	5	13.2	4	10.5	29	76.3	0	0.0	38	100.0
合計		26	21.1	15	12.2	82	66.7	0	0.0	123	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	8	17.8	6	13.3	12	26.7	19	42.2	0	0.0	45	100.0
	女	3	7.5	3	7.5	4	10.0	30	75.0	0	0.0	40	100.0
	小計	11	12.9	9	10.6	16	18.8	49	57.7	0	0.0	85	100.1
65～74 歳	男	-	-	1	5.3	7	36.8	11	57.9	0	0.0	19	100.0
	女	-	-	1	5.3	2	10.5	16	84.2	0	0.0	19	100.0
	小計	-	-	2	5.3	9	23.7	27	71.0	0	0.0	38	100.0
合計		11	8.9	11	8.9	25	20.4	76	61.8	0	0.0	123	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

6 特定保健指導等

(1) ライフデザイン相談（特定保健指導個別支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 日時

予約制・1人30分程度

ウ 場所

保健センター

エ 従事

管理栄養士、保健師

オ 内容

個別面接による特定保健指導

カ 実施状況（健診年度に関わらず、令和6年度に特定保健指導を実施した者）

（単位：人）

内訳	積極的	動機付け	計
初回面接	5	36	41
中間評価	6	-	6
最終評価	9	63	72

※ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）参加者も含む。

(2) ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 場所

保健センター

ウ 従事

管理栄養士、保健師

エ 内容

1グループ90分・8名以内による特定保健指導

オ 実施状況

（単位：人）

	実施月日	積極的	動機付け	計
1	令和6年11月25日（月）午後	0	2	2
2	11月27日（水）午前	0	1	1

(単位：人)

	実 施 月 日	積極的	動機付け	計
3	12月11日(水) 午前	0	3	3
4	12月23日(月) 午後	0	1	1
5	令和7年 1月24日(金) 午前	1	4	5
6	2月 3日(月) 午後	0	3	3
7	2月 5日(水) 午前	1	6	7
8	3月19日(水) 午前	1	4	5
9	3月26日(水) 午前	2	1	3
10	3月28日(金) 午後	0	2	2

(3) 実践講座

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者等

イ 日時

毎月概ね第1木曜日 午後1時30分から3時

ウ 場所

へきなん福祉センターあいくる まちかどホール

エ 講師

運動実技指導 森田東子氏

オ 従事

保健師

カ 内容

血圧測定等健康チェック・運動実技

キ 実施状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	9		10	11	12	R7. 1	2	3	計
日	4	2	6	4	12	26	3	7	5	23	6	6	
人数	29	28	27	28	33	30	28	30	32	27	29	30	351

(4) 国民健康保険健康づくりイベント（かるやかウォーキングツアー）

ア 対象

40歳から74歳までの碧南市国民健康保険加入者

イ 日時

(ア) 5月31日(金) 午前9時30分から13時

(イ) 10月30日(水) 午前9時30分から13時

ウ 場所

保健センター

エ 従事

保健師、管理栄養士

オ 協力

在宅保健師会「あいち」(愛知県国民健康保険団体連合会保健事業支援)、健康づくり食ボランティア協議会

カ 内容

血圧測定・健康チェック、ウォーキング(保健センター・臨海公園往復約5km)、健康づくりに関する講義

(ア) 健診を受けて生活習慣を見直しましょう(保健師)

(イ) ウォーキングで心も体も元気!(健康運動実践指導者)

キ 参加人数

(ア) 8人

(イ) 13人

(5) ウォーキング自主グループ活動

ア 日時

第2・4月曜日(祝日の場合は振替)月2回

午前9時から約1時間(夏季は午前8時30分から)

イ 内容

ウォーキング(保健センター・臨海公園往復約5km)、準備・整理体操

ウ 実施状況 会員22人(年度末)

(単位:人)

月	4		5		6		7		8		9	
日	8	22	13	27	10	24	8	22	5	26	9	30
人数	11	9	中止	中止	7	7	9	7	6	9	9	9
月	10		11		12		R7. 1		2		3	
日	7	28	11	25	9	23	20	27	10	17	10	24
人数	8	7	8	8	8	8	5	9	8	9	7	8
計	176											

※中止は、悪天候のため。

第6 介護予防事業

1 介護予防事業の歩み

平成18年度の介護保険制度改正により介護予防事業を含む地域支援事業が創設されたことに伴い、健康相談・教育の一部を変更しつつ、介護予防事業として組み立てた。

2 介護予防把握事業の歩み

(1) なごやかアンケート調査

平成18年 なごやか訪問を開始

平成28年 家庭訪問による基本チェックリスト等の回収を、在宅介護支援センター廃止に伴い、社会福祉協議会（委託）・市地域包括支援センター・健康課で実施

平成29年 平成27年度の介護保険法改正により、一次・二次介護予防事業を介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として再編したことに伴い、なごやかアンケート調査として実施

令和4年 高齢介護課で実施

(2) 介護予防スクリーニング

平成20年 特定健康診査等と同時に、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に生活機能評価を実施

平成25年 生活機能評価は廃止。特定健康診査等と同時に、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に基本チェックリストを実施

平成27年 特定健康診査等時の基本チェックリストを中止。過去3年間、基本チェックリストの未実施者を対象に実施

平成29年 平成27年度の介護保険法改正により、一次・二次介護予防事業を介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として再編したことに伴い、介護予防スクリーニングは、なごやかアンケート調査にて実施

(3) 介護予防相談

平成18年 介護予防相談を東部市民プラザ高齢者元気ッス館で開始

平成19年 8月より東部市民プラザ筋トレルーム60内で実施

平成29年 農業活性化センターあおいパーク筋トレルーム60開設に伴い、あおいパーク筋トレルーム60内で開始

平成30年 介護予防栄養相談を開始（介護予防相談に併設）

令和元年 5月の勤労青少年水上スポーツセンター筋トレルーム60開設に伴い、勤労青少年水上スポーツセンター筋トレルーム60内で開始

令和2年 介護予防歯科相談を開始（介護予防相談に併設）したが、感染拡大防止のため中止

令和3年 1月の筋トレルーム60委託事業者変更に伴い、事業者による相談を開始したため、筋トレルーム60内での介護予防相談は中止

3 通所型介護予防事業の歩み

(1) 元気はつらつ教室

平成18年 元気はつらつ教室を開始

平成27年 市地域包括支援センターで実施

(2) 貯筋塾

平成19年 貯筋塾を開始（一部を株式会社愛知スイミングへ委託）

平成26年 一部を東郷町施設サービス株式会社へ委託

平成28年 市地域包括支援センターで実施

4 訪問型介護予防事業の歩み

平成18年 訪問型介護予防事業を開始

平成28年 訪問型介護予防事業を終了

5 介護予防普及啓発事業の歩み

(1) すこやか健康講座

昭和54年 老人クラブを対象に老人保健大学、老人健康相談を開始

昭和55年 老人保健大学をシルバー保健学級に名称変更

平成元年 老人健康相談をすこやか健康教室に名称変更

平成2年 シルバー保健学級をすこやか健康教室に統合、各老人クラブ年3回実施

平成11年 各老人クラブ年2回実施に変更

平成18年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施

平成20年 各老人クラブ年1回実施に変更

令和5年 高齢者教室の一講座として実施に変更

(2) 筋力トレーニング教室

平成14年 高齢者のための筋力トレーニング教室を開始

平成15年 メディカル筋力トレーニング教室に名称変更

平成18年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施、筋力トレーニング教室に名称変更

平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施

(3) 運動機能向上事業

平成 18 年 運動機能向上事業を開始（碧南スイミングスクールへ委託）

平成 20 年 運動機能向上事業を中止

(4) 回想法教室

平成 18 年 回想法カレッジを開始

平成 21 年 回想法教室に名称変更

平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施

令和 6 年 回想法教室を中止

(5) ピンシャン講座

平成 18 年 ピンシャン講座を開始

平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の公開講座として実施

(6) 低栄養予防、口腔機能向上事業

平成 18 年 低栄養予防として「自分でできるヘルシー栄養教室」を実施

平成 19 年 低栄養予防、口腔機能向上として「歯れやか栄養教室」を開始

平成 22 年 「歯れやか栄養教室」を中止

平成 23 年 低栄養予防、口腔機能向上事業を介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施

(7) 認知症・閉じこもり予防事業

平成 22 年 認知症・閉じこもり予防事業として「手作りを楽しんでもみませんかクッキング編」を実施

平成 23 年 認知症・閉じこもり予防事業を介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施

(8) おたっしや大学

平成 23 年 介護予防を目的とした事業を統合し、「おたっしや大学」を開始

平成 29 年 「おたっしや大学」脳健康教室終了者で自主活動を開始

(9) 筋トレルーム 60

平成 19 年 8 月より東部市民プラザ高齢者元気ッス館に開設（株式会社愛知スイミングに委託）

平成 20 年 実施日・時間を土・日曜日と午後に時間拡大

平成 21 年 碧南ライオンズクラブ 45 周年記念、ヒップ AB/ADD 寄贈

平成 26 年 東郷町施設サービス株式会社に委託

平成 29 年 農業活性化センターあおいパークに開設
 9 月より、名称を筋トレルーム 60 に変更（旧貯筋ルーム）
 令和元年 5 月 21 日勤労青少年水上スポーツセンターに開設
 令和 3 年 1 月より、シンコースポーツ中部株式会社に委託
 令和 6 年 1 月より、株式会社アクトスに委託

6 地域介護予防活動支援事業の歩み

(1) リハビリ教室

平成 3 年 老人保健法機能訓練 A 型（基本型）として開始
 平成 7 年 送迎を開始
 平成 12 年 介護保険法施行に伴い、自主グループへ移行
 要介護等認定非該当を対象にはつらつ教室を開始、年度末で中止

(2) 遊友の会

平成 12 年 老人保健法機能訓練 B 型（地域参加型）として、新川地区で開始
 平成 13 年 旭地区を追加し実施
 平成 14 年 中央・棚尾地区を追加し実施
 平成 15 年 大浜・西端地区を追加し、市内全域で実施
 平成 18 年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施
 平成 27 年 市包括支援センター実施の通所型介護予防事業「元気いきいき教室」を中止希望者で地域介護予防活動支援事業に位置付け「元気いきいき会」を開始

(3) 介護予防サポーター養成講習会

平成 18 年 介護予防サポーター養成講習会を開始、遊友の会ボランティアを介護予防サポーターへ位置付ける

(4) 傾聴ボランティア養成講習会

平成 22 年 地域自殺対策緊急強化基金事業として、傾聴ボランティア養成講習会を開始
 平成 25 年 傾聴ボランティア「へきなん傾聴の会」発足
 平成 27 年 地域自殺対策緊急強化基金事業終了に伴い、地域介護予防活動支援事業として実施

7 令和6年度 一般介護予防事業

事業	健康課 事業
介護予防把握事業	介護予防相談
介護予防普及啓発事業	すこやか健康講座
	おたっしや大学
	筋トレルーム60
地域介護予防活動支援事業	遊友の会
	介護予防サポーター養成・活動支援
	傾聴ボランティア養成・活動支援

8 すこやか健康講座

(1) 目的

疾病予防、介護予防に関する健康教育等を実施し、健康寿命の延伸につなげる。

(2) 対象

老人クラブ会員等

(3) 場所

各地区公民館等

(4) 内容

ア 医師・歯科医師・薬剤師を講師とした健康づくり・介護予防の講演

イ 保健師・栄養士・歯科衛生士による健康づくり・介護予防の情報提供及びレクリエーション

ウ 保健師による血圧測定、健康相談（希望者）

(5) 実施状況

地区	実施日	演題	講師	参加人数(人)
新川	12月12日(木)	笑い与健康	小林 明子氏	44
	1月30日(木)	お口の変化と口腔健康管理	杉浦 宏樹氏	53
中部	7月18日(木)	認知症の対策と付き合い方	中西 貞治氏	69

地区	実施日	演題	講師	参加人数(人)
大浜	12月3日(火)	今日からはじめる！ オーラルフレイル予防	健康課歯科衛生士	21
	12月4日(水)	健康寿命の伸ばし方 (寝たきりにならないために)	西中 康人氏	41
	12月5日(木)	薬剤師から見た認知症の治療と 予防	辻野 友章氏	24
棚尾	10月2日(水)	骨を守る健康な食事について	健康課栄養士	31
日進	7月25日(木)	介護予防をはじめるために	健康課保健師	18
	9月26日(木)	いつまでも健やかな毎日を送るた めに-身につけようマイナエクササ イズ-	山中 寛紀氏	47
鷺塚	9月20日(金)	便秘のアレコレ	杉浦 潤氏	49
	12月20日(金)	風邪薬と冬の健康について	石川 順也氏	42
	6月21日(金)	オーラルフレイル	伊藤 正幸氏	49
西端	1月22日(水)	お口のはたらきと健康	鶴田 明男氏	54
合計				542

9 おたっしや大学

介護予防を目的とした事業を平成22年度までは、一つ一つの教室として実施してきたが、多くの高齢者の方に興味を持ってもらい、楽しみながら体系的に介護予防を学んでいただけるような仕組みとして「大学」という制度を設け、平成23年度より「おたっしや大学」を開校。

(1) 目的

- ア 介護予防に関する知識の普及啓発を行い、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることが出来るよう支援する。
- イ 「大学」という登録制度を作り、市が行う介護予防事業を体系的にまとめ、効果的な介護予防の普及啓発を行う。

ウ 「大学」という登録制度を作り、介護予防に資する自発的な活動を促し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築をめざす。

(2) 対象

65歳以上の市民で、自分で講座に参加できる人

(3) 内容

下記のとおり各種講座を実施。各種講座は、入学者が選択して受講する。各種講座ごとに受講認定ポイントを定め、必要ポイント達成者は、修了式に修学認定証を授与する。

ア 入学説明会

イ 始業式・基調講演

ウ 介護予防基本講座

(ア) 口腔機能向上講演会

(イ) 運動機能向上講演会

(ウ) 栄養講座

エ 脳機能の維持・向上実践講座

(ア) 脳の健康教室（20回コース）

(イ) 音楽サロン～みんなで歌って楽しみましょう～（3回コース）

オ 身体機能の維持・向上実践講座

(ア) 笑って元気！楽しい笑いヨガ

(イ) からだ、こころ 動き出す 体操講座（3回コース）

(ウ) 筋力トレーニング教室（13回コース）

(エ) 太極拳（3回コース）

カ 介護予防全般の講座

(ア) 体力測定会

(イ) 認知症サポーター養成講座

(ウ) ピンシヤン講座（公開講座）

キ 修了式

令和6年度登録者数 158人（令和7年3月末）

講座名	実施日	内容・講師等	参加人数 (人)
入学説明会	4月9日(火)	入学説明会 担当：保健師	4
始業式 基調講演	4月19日(金)	「人生100年時代のフレイル予防」 講師：名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授 梅垣宏之氏	98
介護予防 基本講座(ア)	9月3日(火)	口腔機能向上講演会 「8020とオーラルフレイル ～高齢者と子供の意外な共通点～」 講師：碧南歯科医師会 宮地秀憲氏 実技担当：歯科衛生士	37
介護予防 基本講座(イ)	11月6日(水)	運動機能向上講演会 「自分でできる足腰のコンディショニング」 講師：日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 教授 小林寛和氏	48
介護予防 基本講座(ウ)	2月4日(火)	栄養講座 講話：「チーズセミナー ～チーズを美味しく楽しむ～」、セルフチェック「高齢期に必要な栄養」 講師：雪印メグミルク 長束美紗希氏 担当：栄養士、保健師	28
脳機能の 維持・向上 実践講座(ア)	5月27日(月) から 11月18日(月)	脳の健康教室(20回コース) くもん学習療法センター「くもん脳の健康教室」を実施 担当：保健師	実 6 延 84
脳機能の 維持・向上 実践講座(イ)	5月28日(火) から 12月24日(火)	音楽サロン ～みんなで歌って楽しみましょう～(3回コース) 担当：岡島淑子氏 (南千里氏)	実 29 延 77
身体機能の 維持・向上 実践講座(ア)	6月11日(火)	「笑って元気！楽しい笑いヨガ」 ～笑いは最良の薬です、笑って心も体も健康に～ 講師：知崎直美氏	29

講座名	実施日	内容・講師等	参加人数 (人)
身体機能の 維持・向上 実践講座(イ)	7月3日(水) から 7月31日(水)	からだ、こころ 動き出す 体操講座 (3回コース) 講師：たぶち優子氏	実 32 延 89
身体機能の 維持・向上 実践講座(ウ)	8月26日(月) から 12月16日(月)	筋力トレーニング教室 (13回コース) 講演「筋力トレーニングの必要性及び継続の ために」 講師：日本福祉大学 社会福祉総合研究セン ター 荒深裕規氏 愛知県健康づくりアドバンスリーダー 石川春代氏	実 18 延 169
身体機能の 維持・向上 実践講座(エ)	10月2日(水) から 10月16日(水)	太極拳 (3回コース) 講師：太極拳世界チャンピオン 太極拳世界連盟理事長 謝 美花氏	実 30 延 80
介護予防全般 の講座(ア)	10月29日(火)	体力測定会 指導：日本福祉大学 スポーツ科学部 准教授 児玉 友氏	34
介護予防全般 の講座(イ)	11月20日(水)	認知症サポーター養成講座 担当：碧南市キャラバンメイト連絡会 高齢介護課 地域支援係	38
介護予防全般 の講座(ウ)	1月31日(金)	ピンシヤン講座 (公開講座) 「生活習慣病予防と介護予防の共通点」 講師：国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター センター長 島田裕之氏	93
修了式	3月19日(水)	担当：保健師	60

(4) 従事者

保健師、栄養士、歯科衛生士

(5) 協力者

介護予防サポーター、おたっしや大学学生協力員

(6) 周知方法

ア 広報、ホームページ

イ 令和5年度登録者に個別通知

ウ すこやか健康講座参加者へ紹介ちらしを配布

(7) その他

入学は、随時可とする。

(8) 脳の健康教室修了者による自主活動

ア 名称 脳活塾へきなん

イ 日程 毎月第2・4月曜日（祝日はお休み） 午後1時30分から2時30分

ウ 会場 へきなん福祉センターあいくる

エ 内容 学習（計算、すうじ盤、音読）、レクリエーション等

オ 経緯 平成29年度「脳の健康教室」終了後、平成30年1月から開始
令和6年度は29人にて活動

カ 実績 17回実施 参加者延337人

10 筋トレルーム60

(1) 目的

介護予防トレーニングマシンを利用して、老化により動かなくなった神経・筋を再活動化させて動作性の向上・維持を促すことにより生活機能を向上させ要介護状態になることを防ぐことを目的とする。

(2) 対象

60歳以上の市民

(3) 実施日

火曜日から日曜日

東部市民プラザ高齢者元気ッス館の休館日、農業活性化センターあおいパークの休園日、勤労青少年水上スポーツセンターの12月29日から1月3日は除く

(4) 場所

東部市民プラザ 高齢者元気ッス館 筋トレルーム60

農業活性化センターあおいパーク 筋トレルーム60

勤労青少年水上スポーツセンター 筋トレルーム60

(5) 内容

ア 健康チェック

イ 簡易な個人プログラム作成

ウ マシンの使用説明、ウォーミングアップ・ストレッチ等の指導

(6) 従事者

健康運動指導士等（委託事業者）

(7) 実施状況

会 場	会員登録者数 (人)	開設日 (日)	延利用者数 (人)
東部市民プラザ	1,412	291	8,216
あおいパーク	1,228	309	11,843
勤労青少年水上スポーツセンター	1,132	301	21,886
計	—	—	41,945

1 1 遊友の会

(1) 目的

- ア 心身機能の低下により生じる閉じこもりや孤立の防止を図る。
- イ 社会との交流を持つことにより生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。
- ウ 参加者同士の結びつきを広め、仲間作りの機会とする。
- エ 認知症の予防、寝たきり予防を図る。

(2) 対象

65歳以上の市民で、自分で来所できる人

(3) 実施場所・日程

会 名	会 場	実施日	実施時間
みなわ会	へきなん福祉 センターあいくる	第1・3 金曜日	午後1時30分から3時
なでしこ会	東部市民プラザ	第2・4 水曜日	午後1時から2時30分
友楽会	棚尾公民館	第2・4 金曜日	午後1時30分から3時
わかば会	中部公民館	第2・4 水曜日	午後1時30分から3時
浜友会	大浜まちかどサロン	第2・4 火曜日	午前9時30分から11時
さくら会	碧南社協地域包括支援 センター西端出張所	第1・3 木曜日	午後1時30分から3時
元いきいき会	文化会館	第2・4 木曜日	午後1時から2時30分

(4) 内容

- ア 参加者の健康状況把握（健康チェック、血圧測定など）
- イ 脳活性化ゲーム、体操、手工芸等の創作活動や施設外活動等
- ウ 介護予防調査票を実施し、生活機能等の低下がみられる方に介護予防事業、訪問等を通じた支援

(5) 実施回数・参加状況

※会員数は、令和7年3月末現在

会 名	実施回数(回)	会員数 (人)	延参加人数 (人)	活動開始時期
みなわ会	20	19	179	平成14年1月
なでしこ会	22	11	212	平成14年2月
友楽会	24	12	186	平成15年4月
わかば会	22	17	254	平成15年4月
浜友会	21	10	160	平成16年3月
さくら会	23	19	231	平成16年4月
元気いきいき会	24	10	211	平成27年5月
計	156	98	1,433	

(6) 従事者

保健師1名、介護予防サポーター1名から7名

(7) 行事

内容・講師	実施日	参加人数 (人)	参加人数内訳 (人)
「今日からはじめるオーラルフレイル予防」 担当：歯科衛生士	① 11月15日 ② 2月12日 ③ 2月28日 ④ 11月27日 ⑤ 12月10日 ⑥ 3月13日 ⑦ 1月9日	会員55 サポーター22	①みなわ会8 サポーター5 ②なでしこ会8 サポーター2 ③友楽会5 サポーター3 ④わかば会11 サポーター3 ⑤浜友会8 サポーター4 ⑥さくら会8 サポーター1 ⑦元気いきいき会7 サポーター4

内容・講師	実施日	参加人数（人）	参加人数内訳（人）
「食べて元気に フレイル予防」 担当：栄養士 （食ボランティ アによる糖尿病 予防のレシピ紹 介・試食）	① 10月 4日 ② 10月 9日 ③ 11月 8日 ④ 9月11日 ⑤ 9月10日 ⑥ 12月 5日 ⑦ 10月10日	会員 64 サポーター24	①みなわ会 9 サポーター5 ②なでしこ会 12 サポーター2 ③友楽会 4 サポーター2 ④わかば会 9 サポーター3 ⑤浜友会 7 サポーター5 ⑥さくら会 14 サポーター2 ⑦元氣いきいき会 9 サポーター5
「人生 100 年時 代～健康に長生 きしましょう～」 講師：碧南市医師 会 松本佳久氏	7月10日	会員 20 サポーター3 一般 1	①わかば会 11 サポーター3 ②他会場会員 9 ③一般 1
「ロコモティブ シンドロームの 予防」 講師：森田東子氏	11月13日	会員 10 サポーター2	なでしこ会 10 サポーター2
「楽しくレクで 健康づくり」 講師：スポーツ推 進委員 榊原節 子氏	12月11日	会員 12 サポーター3	わかば会 12 サポーター3
「フレイル予防 教室」 担当：国保年金課	① 9月20日 ② 10月11日	会員 18 サポーター8	①みなわ会 9 サポーター5 ②友楽会 9 サポーター3
「もしバナゲー ム」 担当：高齢介護課	① 6月20日 ② 11月28日	会員 25 サポーター6	①さくら会 14 サポーター2 ②元氣いきいき会 11 サポーター4
折り紙 講師：介護予防サ ポーター 近藤 みのり氏	9月24日	会員 8 サポーター3	浜友会 8 サポーター3

第7 ヘきなんヘルスキーパー事業

1 健康推進員・へきなんヘルスキーパーの歩み

(1) 目的

地域住民の自主的健康管理のために各種保健事業を企画および実施し、また市ならびに碧南市健康を守る会が行う事業を運営する。

(2) 健康推進員・ヘルスキーパーの歩み

昭和51年 地区保健衛生組織育成事業開始（西端・天王地区）

昭和52年 各公民館保健衛生推進組織ができる（13か所）

昭和57年 保健衛生推進員市内全域に配置（25地区）

平成元年 名称を「保健衛生推進員」から「健康推進員」に改める

平成23年 健康推進員の地区を23地区（鷺塚・鷺林・旭町を1地区に統合）に変更

令和6年 健康推進員制度を廃止し、へきなんヘルスキーパー事業へ改める
家族検尿廃止

2 ヘルスキーパー登録者数

25地区 86人

3 研修会への参加

日時：令和6年4月30日（火）①13時30分から ②19時から

場所：保健センター会議室

内容：ヘルスキーパーの活動について

参加人数：30人

4 公民館まつりにおける健康づくりの普及啓発

	実施日	会場	対象地区
1	令和6年10月27日（日）	新川公民館	久沓、田尻、西松江、東松江、鶴ヶ崎、千福、浜尾、東山、西山
2	令和6年11月3日（日）	中部公民館	道場山、天王、中山
3	令和6年11月17日（日）	農業者コミュニティセンター	西端
4	令和6年12月1日（日）	日進公民館	伏見屋、平七、流作、家下
5	令和7年1月19日（日）	棚尾公民館	棚尾

5 総合防災訓練

日時：令和6年11月10日（日）午前9時から11時30分

場所：新川中学校

内容：(1)エコノミークラス症候群予防のための運動実技体験「避難生活でのからだところの整え方」（包括連携事業者中北薬品株式会社との連携事業）

(2)避難所での健康管理について

ヘルスキーパー参加人数：14人

ブース来訪者数：85人

6 各地区ヘルスキーパー関係事業

1 久杵地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
ラジオ体操	7月20日(土)	久杵公園	65

2 田尻地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
フラワーアレンジメント教室	7年2月23日(日)	田尻区民館	7

3 西松江地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
歩け歩け	9月8日(日)	西松江区民館⇄ 碧 IC	51

4 東松江地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
区民ラジオ体操	7月24日(水)	東松江区民館前	100
	7月25日(木)		
	7月26日(金)		
区民ウォーキング大会	11月24日(日)	東松江区民館前 ⇄水族館	46

5 鶴ヶ崎地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
クリスマス お正月花飾り教室	12月8日(日)	鶴ヶ崎区民館 2階	20

6 千福地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
早朝ウォーキング	5月19日(日)	斎宮社境内 周辺	40
	7月7日(日)		41

7 大浜上地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
防災講座「災害時の健康管理について」の講習 エコノミークラス症候群 予防体操	7年1月18日(土)	大浜上区民館	51

8 大浜下地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
足つぼマッサージ講座	9月18日(水)	大浜下区コミュニ	22
	11月26日(火)	ティーセンター	34

9 棚尾地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
自主防災を考える会 棚尾地区防災訓練	毎月1回 (6年4月～7年1月)	棚尾 ふれあい館	20/回
	11月24日(日)	棚尾小学校	90
棚尾公民館まつり	7年1月18日(土) 1月19日(日)	棚尾公民館	250

10 西部連合町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
ラジオ体操 歩け歩け運動	7月7日(日)	二本木荒子 神明社	193
	7月14日(日)		
	7月21日(日)		
	7月28日(日)		

11 神有地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
フラワーアレンジメント	11月17日(日)	神有区民館	26

12 鷺塚住宅地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
リンパマッサージ教室	9月21日(土)	鷺塚住宅集会場	10

13 平七地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
多肉植物寄せ植え教室	12月14日(土)	霞浦会館	40
新春文芸展	7年1月1日(水)	霞浦会館	6

第8 介護予防サポーター育成事業等

1 介護予防サポーター養成講習会

(1) 目的

高齢者の介護が大きな社会問題となる中で、高齢者自らの積極的健康づくりや介護予防への取り組みを促進するためには、地域でその普及啓発などに協力していただく支援者が必要となる。

そのための人材の育成について養成講習会を実施し、地域で支える介護予防活動を展開できる体制づくりに取り組む。

(2) 場所

保健センター 講義室

(3) 時間

午後1時30分から3時30分

(4) 内容・参加人数

	実施日	内 容	参加人数(人)
1	6月25日(火)	・自己紹介 ・講義「介護予防について」 ・脳活性化ゲーム体験	3
2	7月2日(火)	講義「レクリエーションのすすめ方(実技体験含む)」 講師：碧南市スポーツ推進委員 榊原節子氏	3
3	7月9日(火)	講義「介護予防活動を支援するサポーターの役割」 講師：株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏 (プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー)	3
4	7月16日(火)	・介護予防サポーター体験談 ・グループワーク「養成講習会を終えて」	3
見学 体験	7月・8月	介護予防事業(遊友の会)の見学・体験	3

実参加人数 3人(受講者のうち、介護予防サポーター登録1人)

延参加人数 12人

2 介護予防サポーター活動

(1) 登録人数 31人(令和7年3月末現在)

(2) 実績

事業名		活動回数(回)	延人数(人)
遊友の会	みなわ会	20	95
	なでしこ会	22	40
	わかば会	22	65
	浜友会	21	66
	友楽会	24	65
	さくら会	23	36
	元気いきいき会	24	117
脳の健康教室		20	44
脳活塾へきなん(継続活動支援)		17	21

(3) 打合せ会

日程		内 容	出席人数 (人)
1	6月4日(火)	- 令和5年度介護予防事業の実施状況について - 令和6年度介護予防事業の予定について - 令和6年度介護予防サポーター養成講習会の予定について - 令和6年度介護予防事業のサポートについて	16
2	10月1日(火)	講演:「笑って元気!楽しい笑いヨガ」 ~笑いは最良の薬です、笑って心も体も健康に~ 講師: 知崎直美氏	17
3	3月4日(火)	- 令和7年度介護予防事業(案)について - 令和7年度介護予防事業サポート(案)について	23

3 傾聴ボランティア養成講習会

(1) 目的

傾聴(相手の心に耳を傾け、話を聞く)に必要な心構えや技術などを学習することにより、傾聴のできるボランティアの養成を目的とする。

(2) 場所

市役所 会議室1

(3) 時間

午前10時から午後3時(休憩1時間)

(4) 講師

株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏
(プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー)

(5) 内容・参加人数

	日 程	内 容(講義と実技)	参加人数(人)
1	11月29日(金)	・傾聴技術の基礎	5
2	12月6日(金)	・傾聴技術の基礎と応用	6
3	12月13日(金)	・ボランティアとして活動する心構え ・傾聴技術の取得と練習	5

実参加人数 7人

延参加人数 16人

(6) 実践研修

老人保健施設ひまわり、老人保健施設向陽にて実施

(7) へきなん傾聴の会(傾聴ボランティア団体)

平成25年2月26日発足会。平成25年4月より、へきなん傾聴の会会則に基づき、月1回定例会開催し、活動開始

ア 会員数: 15人(令和7年3月末日現在)

イ 定例会: 10回(月1回、5・8月中止) 延88人

ウ 傾聴活動: 個人宅訪問 延 9回

施設活動 延151人

第9 碧南市健康づくり食ボランティア協議会

1 歩み

(1) 栄養教室

平成6年 地域での食生活の改善のための原動力として食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成10年 「食生活改善推進員養成のための栄養教室」を隔年開催とする

(2) 協議会

平成9年 地域保健法施行により食生活改善推進員養成事業が市町村に移行、碧南市健康づくり食生活改善協議会の設立総会を行う
(「A」、「B」、「むつみ」の3グループ)

愛知県食生活改善推進員連絡協議会に入会する

平成11年 「みどり」グループを新たに加え、4グループとなる

平成19年 「B」グループが脱会、「キャロット」グループを新設する

平成22年 愛知県食生活改善推進員連絡協議会から脱会する

全国食生活改善推進員協議会が「食生活改善推進員」を商標登録したことから、「碧南市健康づくり食生活改善協議会」の名称を「碧南市健康づくり食ボランティア協議会」と変更する

2 目的

地域活動をもってひとりひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、食育や調理実習を通して正しい食生活の普及浸透を図り、地域住民の健康で文化的な食生活の維持・発展に寄与すること。

3 会員数

4グループ 45人 (Aグループ10人、むつみグループ10人、
キャロットグループ15人、みどりグループ10人)

4 活動内容

グループ	A	むつみ	みどり	キャロット
時 間	毎月第2月曜日 午前9時30分～	毎月第2金曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～

※場所 保健センター

5 事業実施状況

(1) 協議会事業

事業名	実施日	回数・内容	会員 (人)	市民 (人)	会 場
総会	4 月 22 日		27	—	保健センター
役員会	4 月から 3 月	全 6 回	41	—	保健センター
各グループ 活動など	4 月から 3 月	テーマ毎の勉強 会・打ち合わせ・ 調理実習	270	—	保健センター
遊友の会 レシピ紹介 と試食	10 月 4 日	低栄養予防レシピ 紹介と試食	6	34	あいくる
	10 月 9 日				東部市民プラ ザ
	11 月 10 日				文化会館
親子食育 クッキング	7 月 30 日	食育ゲーム・バラン ス食の調理実習	8	10	あいくる
合同研修会	11 月 5 日	ヨーグルトセミナ ー	28	—	保健センター

(2) 市事業協力

事業名	実施日	回数・内容	会員 (人)	市民 (人)	会 場
食育教室	5 月から 10 月	エプロンシアター 8 回	20	411	市内保育園・ 幼稚園
会議	5 月 30 日	地産地消委員会	1	—	市役所
	6 月 7 日	食育推進委員会	1	—	市役所
離乳食教室 前期	4 月から 3 月	毎月 1 回試食作成	20	親子 108 組	保健センター
離乳食教室 後期	4 月から 2 月	偶数月 1 回 試食作成	11	親子 77 組	保健センター
離乳食教室 完了期	5 月から 3 月	奇数月 1 回 試食作成	12	親子 51 組	保健センター
国保事業	5 月 31 日	食事の提供	5	8	保健センター
	10 月 30 日		5	13	保健センター
糖尿病予防 教室	7 月 26 日	食事の準備提供	4	19	保健センター
	10 月 25 日	果物の準備提供	2	17	保健センター

6 碧南市健康づくり食ボランティア育成・活動支援

(1) 役員会

単位：人

	実施日	内 容	従事者	参加 人数
1	4 月 2 日	令和 6 年度新旧役員顔合わせ	健康課 栄養士	11
2	5 月 13 日	保健センター事業協力、勉強会について		7
3	7 月 17 日	親子食育クッキング、合同研修会について		6
4	9 月 4 日	合同研修会、高齢者試食会について		7
5	11 月 29 日	エプロンシアター、高齢者試食会について 親子食育クッキング振り返り		6
6	3 月 3 日	次年度役員、総会、活動計画について		6

(2) 勉強会栄養講話

単位：人

実施日	内容	従事者	参加 人数
5 月 8・9・10・13 日	骨粗しょう症予防について 献立作成時のポイント	健康課 栄養士	37
12 月 11・12・13 日 1 月 20 日	貧血予防について 献立作成時のポイント		35

(3) 各グループ献立作成・栄養価計算支援等

単位：人

実施日	内容	従事者	参加 人数
令和 6 年 5 月から 令和 7 年 2 月（24 回）	糖尿病・高血圧・メタボ予防・親子食育等	健康課 栄養士	240

第10 歯科保健事業

1 歯科保健の歩み

- 昭和36年 3歳児歯科健康診査開始
- 昭和48年 3歳児歯科健診部が健康を守る会小児保健部会に入る
- 昭和49年 市内保育園・幼稚園歯科口腔衛生講話とブラッシング指導開始
- 昭和50年 母親教室で歯科衛生教育開始
健康を守る会歯科保健部会設置
- 昭和51年 2歳児歯科健康診査フッ化物塗布開始
- 昭和52年 1歳6か月児歯科健康診査フッ化物塗布始まる。
2歳児歯科健康診査中止（10月）
- 昭和60年 成人歯科健康診査始まる
- 昭和62年 E6保護事業開始
寝たきり者歯科訪問治療県モデル地区指定（62年度まで）
- 昭和63年 寝たきり者歯科訪問治療開始（モデル事業を発展）（18年度まで）
- 平成2年 8020県民歯科保健運動に伴い表彰者の審査開始
妊婦歯科健康診査開始（成人歯科健康診査と同時）
市民歯科実態調査開始
- 平成3年 7520市民歯科保健運動開始
- 平成4年 歯槽膿漏個別健診開始（30・60・65歳）
- 平成5年 歯槽膿漏個別健診対象者の拡大
（40・50・70・75歳、妊婦歯科健康診査を移す）
- 平成6年 7520市民歯科保健運動を7521市民歯科保健運動に変更
- 平成7年 E6保護育成事業内容変更
- 平成8年 施設歯科健康診査及び口腔衛生指導開始
- 平成9年 幼児歯科健康診査フッ化物塗布開始
（2歳児・2歳4か月児・2歳8か月児）
妊婦歯科健康診査集団を開始
3歳児歯科健康診査にフッ化物塗布開始
- 平成10年 よい子のよい歯のコンクール対象者拡大
休日歯科診療所開所
- 平成11年 よい子の歯みがき運動開始
歯槽膿漏個別健診を歯周病個別健診に名称変更

- 平成 12 年 障害者歯科診療所開始
- 平成 13 年 よい子の歯みがき運動と E 6 保護育成事業が協賛し市内幼稚園保育園全園実施
歯周病個別健診対象者の拡大（4 5 歳）
- 平成 15 年 歯磨き習慣確立事業開始
6 0 2 4 歯科保健運動開始
歯周病個別健診対象者の拡大（5 5 歳）
- 平成 16 年 よい子のよい歯のコンクールにフッ化物塗布開始
歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者を拡大
（3 歳児追加）
集団妊婦歯科健康診査をマタニティークッキング教室と同日開催
- 平成 17 年 歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者変更
（6 か月児から 1 歳 5 か月児）
成人歯科健康診査実施回数増加（1 8 回）
- 平成 19 年 個別妊婦歯科健康診査開始（集団中止）
- 平成 24 年 休日・障害者歯科診療所を移設
- 平成 25 年 よい子のよい歯のコンクール中止し、歯っぴい検定開始
歯の衛生週間を歯と口の健康週間に名称変更
E 6 保護育成事業開始（委託事業中止）
歯磨き習慣確立事業フッ化物洗口用コップ配布中止
- 平成 26 年 歯磨き習慣確立事業市内全小学校 1 年生健康教育開始
- 平成 28 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を同時に参加可とした
- 平成 29 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を午前・午後で開催していたが午前のみで開催
- 令和元年 歯周病個別健診対象者の拡大（2 0 歳・妊婦のパートナー）
成人歯科健康診査実施回数変更（1 2 回）
- 令和 2 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業とよい子の歯みがき運動を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8 0 2 0 歯科保健運動に伴う表彰式を各歯科医療機関にて実施
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民ふれあいフェスティバル中止）
- 令和 3 年 歯と口の健康週間事業、歯っぴい検定事業、E 6 保護育成事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

- 令和4年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
3か月児健康診査集団を開始
- 令和5年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8020歯科保健運動に伴う表彰式を市役所にて実施
- 令和6年 後期高齢者歯科健康診査事業（75歳）を開始
幼児歯科健康診査フッ化物塗布事業対象者変更（2歳児・2歳6か月児）
歯のけんこう教室（母子健康手帳交付時に初産婦を対象に集団指導）中止

2 妊婦歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦を対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

妊娠中は、歯牙・歯周疾患が進行しやすいため、その早期発見・早期治療を目的とする。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ C P I 判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(5) 歯科健診状況

実施者数（人）	1人あたりの 現在歯数（本）	1人あたりのう歯 数（本）	進行した歯周炎の ある人の割合（%）
191	28.4	6.7	40.8

3 パートナー歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦のパートナーを対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

歯を失う大きな原因となっている歯周病を早期に発見し、治療を行うことにより、市民の健康保持と増進を図る。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ C P I 判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(5) 歯科健診状況

実施者数 (人)	1人あたりの 現在歯数 (本)	1人あたりのう 歯数 (本)	進行した歯周炎の ある人の割合 (%)
100	28.9	6.8	42.0

4 1歳6か月児歯科健康診査

(1) 目的

乳前歯が萌出し、子どもの歯の健康に関心が高まるこの時期に、歯科疾患の早期発見・早期予防につとめ、また家庭で子どもの歯科疾患の予防ができるよう、更なる知識の普及を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回 (年24回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
555人	546人(98.4%)	437人(80.0%)	3人(0.5%)	0.02本

(5) むし歯の罹患状況 (単位：人)

Ｏ１型	Ｏ２・要指導	Ｏ２・要観察	A型	B型	C型
275	168	100	3	0	0

(6) その他の状況 (単位：人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異 常のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
9	6	25	14	18

5 2歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科に対する意識の向上を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月1回 (年12回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
572 人	313 人(54.7%)	287 人(91.6%)	0 人(0.0%)	0 本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
140	99	74	0	0	0

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
4	2	16	18	12

6 2歳6か月児歯科健康診査

(1) 目的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科に対する意識の向上を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ 染め出し エ フッ化物塗布
オ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月1回(年10回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
448 人	188 人(42.0%)	180 人(95.7%)	1 人(0.5%)	0.01 本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
73	62	52	1	0	0

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
1	1	6	9	6

7 3歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳歯列完成期にあたるこの時期に、歯科疾患を予防するための生活習慣が身についているかどうか確認し、今後萌出してくる永久歯も含めて歯科疾患の予防が家庭でできるよう支援する。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回（年24回）

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物塗布者数	むし歯のある者数	1人あたりのう歯数
582人	583人 (100.2%)	400人(68.6%)	29人(5.0%)	0.21本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

Ｏ１型	Ｏ２・要指導	Ｏ２・要観察	A型	B型	C型
205	185	164	18	10	1

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりのある者	おしゃぶりのある者	歯列・咬合異常のある者	軟組織異常のある者	その他の異常のある者
14	0	42	6	35

8 保育園・幼稚園の歯科健診状況

	むし歯のある子の割合(%)			1人あたりのう歯数(本)		
	年少児	年中児	年長児	年少児	年中児	年長児
6年度	4.7	10.5	22.3	0.15	0.37	0.86
5年度	5.0	13.8	22.0	0.12	0.51	0.88

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和5年度・令和6年度）

9 よい子の歯みがき運動

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちが、自分で歯を健康に保つための習慣

や知識を身につけるとともに、８０２０運動を推進し生涯を通じた歯の健康づくりに役立てるように支援する。

(2) 対象

年長児、年中児、年少児

(3) 内容

歯科衛生士による講話等

ア ロの体操等 イ 歯みがきの練習 ウ うがいの練習 エ 第一大臼歯について

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）
幼稚園	5	345
保育園	13	1,038
認定こども園	3	246
合 計	21	1,629

10 E6保護育成事業

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちが、自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身につけるとともに、保護者に歯科疾患予防に関して学習する機会をつくり、８０２０を達成するために必要とされる「第一大臼歯」を親子で保護育成できるように支援する。

(2) 対象

年少児、年中児、年長児

年長児の保護者

(3) 内容

ア 歯科衛生士による講話

イ 染め出しにて磨き残しの確認（年長児）

ウ 仕上げみがき（年長児）

エ フッ化物塗布

オ 歯科医師による講話（年長児保護者）

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）
幼稚園	5	349

施設数（箇所）		参加園児数（人）
保育園	13	1,013
認定こども園	3	233
合 計	21	1,595

1 1 歯と口の健康週間に伴う親子歯科健診

(1) 目的

乳歯が萌出しはじめた子どもが、歯みがきや食生活など、う蝕予防を目的とした生活習慣を身につけることができるように支援する。

(2) 対象

6か月児から1歳5か月児とその保護者

（令和5年1月1日から令和5年12月31日生まれの親子）

(3) 内容

ア 問診（保護者記入） イ 親子の歯科健診、フッ化物塗布

(4) 実施状況

実施日	対象者数	児参加者数	児参加の割合	保護者参加者数
6月2日（日）午前	543人	229人	42.2%	226人

1 2 歯っぴい検定

(1) 目的

口の健康の維持・増進について問題意識を高め、正しい口腔ケアを毎日楽しく続け、歯科口腔衛生の普及を図る。

(2) 対象

年長児

（令和2年4月2日から令和3年4月1日生まれの児）

(3) 内容

ア 問診

イ 口腔内審査・フッ化物塗布

(4) 実施状況

実施日	対象者数	参加者数	参加の割合	1級	2級	3級
6月2日（日）午前	587人	163人	27.8%	71人	70人	22人

1 3 歯科相談

(1) 目的

口腔内に関する心配や不安を軽減し、よりよい生活が送れるように支援する。

(2) 実施回数

毎週月曜日（年42回）

(3) 実施状況（単位：人）

乳児	幼児	計
39	106	145

1 4 歯みがき習慣確立事業

(1) 目的

小学校入学に向けて保護者に対し、子どものむし歯や歯肉の病気予防に必要な歯の磨き方や正しい食生活について、また、子ども自身に歯や口の健康を保つ習慣を身につけてもらう。

(2) 対象

市内小学校1年生とその保護者

(3) 内容

ア 入学説明会にて保護者を対象に講話

イ 1年生に対してクラス毎に講話およびフッ化物洗口

(4) 実施状況

施設数	実施者数（人）
7	608

小学校名	クラス数	実施者数(人)
棚尾小学校	4	111
中央小学校	5	125
大浜小学校	4	112
新川小学校	5	122
西端小学校	2	49
日進小学校	3	64
鷺塚小学校	4	99

1 5 小学生の歯科保健

(1) 永久歯にむし歯のある児童の割合 (単位：%)

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
6 年度	1.3	1.8	3.5	9.5	13.3	13.0
5 年度	0.5	1.5	3.4	8.7	9.9	13.7

(2) 永久歯の 1 人平均のむし歯数 (単位：本)

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
6 年度	0.02	0.02	0.05	0.15	0.23	0.23
5 年度	0.01	0.02	0.05	0.14	0.15	0.21

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和5年度・令和6年度）

1 6 中学生の歯科保健

(1) 永久歯にむし歯のある生徒の割合 (単位：%)

	1 年生	2 年生	3 年生
6 年度	13.0	17.3	25.3
5 年度	17.0	21.1	22.2

(2) 永久歯の 1 人平均のう歯数 (単位：本)

	1 年生	2 年生	3 年生
6 年度	0.26	0.35	0.59
5 年度	0.32	0.47	0.50

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和5年度・令和6年度）

1 7 歯周病個別健診

(1) 目的

生涯健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、口腔衛生の周知、啓発をし、歯周疾患の早期発見、早期治療を推進する。

(2) 対象

年度中に 20、30、40、45、50、55、60、65、70、75 歳の誕生日を迎える市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I 測定 ウ 口腔内所見

(4) 実施期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(5) 実施機関

市内32指定医療機関

(6) 実施状況

	20歳	30歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	計
対象者数(人)	839	848	965	907	1097	1047	876	759	792	926	9,056
受診者数(人)	102	87	105	86	110	107	170	155	174	232	1,328
受診者の割合(%)	12.2	10.3	10.9	9.5	10.0	10.2	19.4	20.4	22.0	25.1	14.7
平均現在歯数(本)	28.5	28.5	28.3	28.0	28.0	27.3	26.8	26.4	25.3	23.4	26.5
歯周炎の割合(%)	29.4	44.8	45.7	38.3	55.5	51.4	51.7	54.2	61.5	53.0	50.3

18 成人歯科健診

(1) 目的

生涯健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、口腔衛生の周知、啓発をし、歯周疾患の早期発見、早期治療を推進する。

(2) 対象

18歳以上の市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I測定 ウ 口腔内所見 エ 歯間補助道具の紹介
オ 要精検者の追跡

(4) 実施回数

生活習慣病予防健診に併せて実施

毎月第2木曜日(年12回)

(5) 実施状況

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
受診者数(人)	13	18	8	12	23	20	1	95
平均現在歯数(本)	28.4	28.6	28.4	29.4	26.6	24.1	5.0	27.0
歯周炎の割合(%)	23.1	16.7	12.5	33.3	47.8	45.0	100	33.7

1 9 後期高齢者歯科健康診査

(1) 目的

後期高齢者の口腔機能低下の予防及び肺炎等の疾病予防を図り、健康増進に資することを目的とする。

(2) 対象

75歳（歯周病個別健診受診者）

(3) 内容 口腔機能評価検査

ア 問診4項目 イ 咀嚼能力状態 ウ 舌口唇運動機能状態 エ 嚥下機能状態

(4) 実施状況

対象者数		926 人	
受診者数		227 人	
口腔機能判定結果	問題なし	126 人	55.5%
	要指導	77 人	33.9%
	要精密検査	24 人	10.6%

2 0 8 0 2 0 ・ 7 5 2 1 ・ 6 0 2 4 歯科保健運動

(1) 目的

健康で豊かな老後を迎えるために生涯自分の歯でかみ味わうことを目標に8020（はちまるにいます）、7521（ななごうにいいち）、6024（ろくまるにいいん）歯科保健運動を行い、啓発・普及を図る。

(2) 表彰者数状況

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	達成者数 (人)	達成者率 (%)
8020 歯科保健運動	660	108	16.4	103	95.4
7521 歯科保健運動	926	232	25.1	187	80.6
6024 歯科保健運動	876	170	19.4	155	91.2

(3) 表彰場所

	表彰年月日	会場
8020 歯科保健運動	令和6年11月7日（木）	碧南市役所
7521 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	
6024 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	

2 1 歯科健康教育

事業名	対象者	実施回数（回）	実施者数（人）
個別歯科相談	乳幼児	9	24
訪問口腔衛生指導	乳幼児	5	5
3か月児健康診査（集団）	3か月児	24	473
離乳食教室（前期）	4か月から6か月児	12	109
離乳食教室（後期）	7か月から11か月児	6	75
離乳食教室（完了期）	1歳から1歳半頃	6	51
子育て支援センター	就園前児	4	20
すくすく教室（に含ませて）	就園前児	9	13
のびのび教室（に含ませて）	就園前児	1	6
生活習慣病若年化対策事業	小学校4年生	5	34
けんこう講座（西端小）	小学校4年生	3	79
けんこう講座（西端中）	中学校1年生	1	66
養護教諭・保育士研修	養護教諭・保育士	2	63
高齢者教室（大浜下地区）	65歳以上	1	21
出前講座（ケアラーズカフェれんげ草）	65歳以上	1	15
結いの家 ご縁	65歳以上	2	30
老人会（神有神友会）	65歳以上	1	38
フレイル予防教室	65歳以上	1	12
おたっしや大学（に含ませて）	65歳以上	1	37
遊友の会（に含ませて）	65歳以上	7	79
糖尿病講座（に含ませて）	一般	2	37
糖尿病個別相談	一般	19	19
母子保健推進員研修（に含ませて）	一般	1	10

第 1 1 生活習慣病対策事業

1 生活習慣病対策事業の歩み

昭和 60 年	成人病若年化対策事業開始 市内 5 中学校の 1 年生の希望者に、食生活調査と肥満度・血圧測定・血液検査（白血球・赤血球・血色素・ヘマトクリット）を実施
昭和 61 年	血液検査対象者に中学 2 年生（前年度要再検査者）を追加
昭和 62 年	血液検査項目に、総コレステロール・中性脂肪・総蛋白・無機リン・カルシウムを追加 血液検査対象者に日進小学校 4 年生・5 年生を追加 小学 4 年生を対象に栄養調査を開始 モデル校：日進小学校
昭和 63 年	血液検査対象者に、市内 7 小学校の 4 年生・5 年生（前年度要再検査者）を追加 栄養調査モデル校：新川小学校 小冊子「子供たちの健康読本」を作製
平成元年	血液検査項目より、特別の異常者にしか反応しない無機リン・カルシウムを中止 血液検査実施者に小冊子「子供たちの健康読本」の配付開始 栄養調査モデル校：中央小学校
平成 2 年	栄養調査モデル校：大浜小学校
平成 3 年	血液検査項目に、HDL コレステロールを追加 皮脂厚測定を開始 小学校 2 校（日進小学校 4 年生・西端小学校 4 年生）と中学校 1 校（西端中学校 1 年生） 栄養調査モデル校：棚尾小学校
平成 4 年	血液検査項目に、血糖、LDL コレステロール、動脈硬化指数を追加 成人病若年化対策事業専用の健診結果表を作製 栄養調査モデル校：日進小学校
平成 5 年	判定の統一化を図るため判定基準を一律にする 小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
平成 6 年	判定基準値の変更

血色素 男子 12.5～18.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 女子 12.0～16.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 血糖値 男女 70～140m g /dl → 75～110m g /dl
 総蛋白 男女 6.5～8.0 g /dl → 6.5～8.2 g /dl
 ヘマトクリット 男子 36.0～50.0% → 35.7～46.5%
 女子 35.0～48.0% → 35.7～46.5%
 HDL コレステロール 男女 40～80m g /dl
 → 32～100m g /dl
 LDL コレステロール 男女 70～140m g /dl
 → 48～150m g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製

栄養調査モデル校：西端小学校

平成 7 年 総合判定を基準値による一律の判定から校医の判定とする

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 8 年 判定基準値の変更

血糖値 男女 75～110m g /dl → 70～120m g /dl

総蛋白 男女 6.5～8.2 g /dl → 6.2～8.2 g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を毎年作製とする

栄養調査モデル校：中央小学校

平成 9 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 10 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

平成 11 年 栄養調査モデル校：日進小学校

平成 12 年 事業名の変更 成人病若年化対策事業 → 生活習慣病対策事業

栄養調査モデル校：鷺塚小学校

平成 13 年 栄養調査モデル校：西端小学校

平成 14 年 皮脂厚測定を中止

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 15 年 栄養調査モデル校：中央小学校

平成 16 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 17 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

健診結果票の変更（個人情報保護）

平成 18 年 栄養調査モデル校：日進小学校

- 平成 19 年 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
- 平成 20 年 「愛知県学童期生活習慣病対策事業」のモデル指定をうけ、当該年度 4 年生を対象として、3 年間追跡調査を行い、メタボリックシンドローム・生活習慣病の予防を目指す。小学 4 年生の血液検査のみ、空腹時採血とする
- 平成 21 年 平成 20 年度に引き続き、モデル事業として「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は 5 年を迎える児童を対象に実施する。本年度は検査項目に肝機能の検査（G O T，G P T）を加える。小学生の血液検査は空腹時採血
- 平成 22 年 モデル事業の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は、6 年を迎える児童を対象に実施
- 平成 23 年 中学生の血液検査を空腹時採血とする。平成 20 年度から 23 年度の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」で行った小学 4 年生を対象とした保健指導を継続実施
岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」に協力。調査対象は平成 27 年までの小学 1 年生
- 平成 25 年 「碧南市生活習慣病若年化対策事業」（D V D）を協力作成し、公益財団法人碧南市健康増進会により発行
- 平成 26 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が平成 30 年まで小学 4 年生となる
- 平成 29 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 3 年まで中学 1 年生となる
- 令和元年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 5 年まで中学 3 年生となる

2 生活習慣病若年化対策事業

(1) 事業概要

小学 4 年生と中学 1 年生を対象に、血液検査・血圧測定などを実施し、子どもたちからの適切な食生活や生活習慣を身につけることで、将来の生活習慣病を予防する。

また、メタボリックシンドローム予防のための生活習慣を定着させることをめざし、個々の健康増進を図る。

(2) 検査内容等

身長・体重測定、血圧測定、腹囲測定、血液検査（空腹時）、生活習慣アンケート

(3) 実施時期

血液検査・身体測定等：令和6年5月から6月

(4) 対象

市内の小学校（4年生）7校および中学校（1年生）5校

3 生活習慣病若年化対策事業結果

(1) 検査数

ア 小学4年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川小	56	46	82.1	51	47	92.2	107	93	86.9
中央小	57	47	82.5	52	43	82.7	109	90	82.6
大浜小	51	41	80.4	59	55	93.2	110	96	87.3
棚尾小	54	47	87.0	43	39	90.7	97	86	88.7
日進小	25	19	76.0	31	28	90.3	56	47	83.9
鷺塚小	54	45	83.3	49	41	83.7	103	86	83.5
西端小	34	30	88.2	45	42	93.3	79	72	91.1
合 計	331	275	83.1	330	295	89.4	661	570	86.2

イ 中学1年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川中	67	57	85.1	48	43	89.6	115	100	87.0
中央中	40	38	95.0	52	48	92.3	92	86	93.5
南 中	115	106	92.2	100	89	89.0	215	195	90.7
東 中	85	74	87.1	95	76	80.0	180	150	83.3
西端中	32	26	81.3	34	28	82.4	66	54	81.8
合 計	339	301	88.8	329	284	86.3	668	585	87.6

(2) 検査結果及び保健指導対象数

ア 小学4年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川小	男	46	25	54.3	7	15.2	14	30.4	13	28.3
	女	47	24	51.1	11	23.4	12	25.5	9	19.1
中央小	男	47	37	78.7	7	14.9	8	6.4	5	10.6
	女	43	25	58.1	10	23.3	8	18.6	3	7.0
大浜小	男	41	23	56.1	8	19.5	10	24.4	5	12.2
	女	55	26	47.3	9	16.4	20	36.4	6	10.9
棚尾小	男	47	33	70.2	10	21.3	4	8.5	7	14.9
	女	39	30	76.9	7	17.9	2	5.1	1	2.6
日進小	男	19	10	52.6	3	15.8	6	31.6	4	21.1
	女	28	19	67.9	5	17.9	4	14.3	2	7.1
鷺塚小	男	45	20	44.4	13	28.9	12	26.7	8	17.8
	女	41	21	51.2	10	24.4	10	24.4	10	24.4
西端小	男	30	18	60.0	6	20.0	6	20.0	5	16.7
	女	42	20	47.6	9	21.4	13	31.0	7	16.7
計	男	275	166	60.4	54	19.6	55	20.0	47	17.1
	女	295	165	55.9	61	20.7	69	23.4	38	12.9
合計		570	331	58.1	115	20.2	129	22.6	85	14.9

※ 被検者には、血圧・腹囲測定のみも含む

イ 中学1年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川中	男	57	28	49.1	15	26.3	14	24.6	10	17.5
	女	43	27	62.8	5	11.6	11	25.6	5	11.6
中央中	男	38	23	60.5	7	18.4	8	21.1	3	7.9
	女	48	30	62.5	12	25.0	6	12.5	5	10.4
南中	男	106	48	45.3	31	29.2	27	25.5	16	15.1
	女	89	55	61.8	19	21.3	15	16.9	6	6.7
東中	男	74	37	50.0	15	20.3	22	29.7	12	16.2
	女	76	37	48.7	22	28.9	17	22.4	13	17.1
西端中	男	26	11	42.3	5	19.2	10	38.5	7	26.9
	女	28	16	57.1	5	17.9	7	25.0	4	14.3
計	男	301	147	48.8	73	24.3	81	26.9	48	15.9
	女	284	165	58.1	63	22.2	56	19.7	33	11.6
合計		585	312	53.3	136	23.2	137	23.4	81	13.8

※ 被検者には、血圧・囲測定のみも含む

(3) 血液検査等の要受診者の状況

ア 小学4年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川小	26	4	10	12
中央小	16	4	9	3
大浜小	30	13	8	9
棚尾小	6	2	3	1
日進小	10	5	1	4
鷺塚小	22	9	9	4
西端小	19	3	10	6
合 計	129	40	50	39
割合 (%)		31.0	38.8	30.2

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診 断 名	人数	診 断 名	人数
コレステロール高値	19	貧血	2
中性脂肪高値	16	肝機能障害	12
血糖高値	0	その他 *1	6
白血球高値	3		

*1 その他の内訳

- ・肥満症（傾向含む） 1人
- ・低体重 4人
- ・脂肪肝 1人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ *1	保健室指導 *2	不参加
	人	人	人	人	人	人
新川小	22	9	13	6	4	12
中央小	8	3	5	2	1	5

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ * 1	保健室指導 * 2	不参加
	人	人	人	人	人	人
大浜小	11	6	5	3	1	7
棚尾小	8	4	4	0	3	5
日進小	6	4	2	0	1	5
鷺塚小	18	11	7	1	3	14
西端小	12	7	5	1	4	7
合 計	85	44	41	13	17	55
割合 (%)		51.8	48.2	15.3	20.0	64.7

* 1 健康づくり教室「健康へゴー！」（生活習慣病改善プログラム）

* 2 養護教諭による保健指導「すくすく教室」

イ 中学1年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川中	25	5	7	13
中央中	14	4	4	6
南 中	42	11	9	22
東 中	39	11	12	16
西端中	17	4	6	7
合 計	137	35	38	64
割合 (%)		25.5	27.7	46.7

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診断名	人数	診断名	人数
コレステロール高値	6	貧血	4
中性脂肪高値	5	肝機能障害	5
血糖高値	0	その他 * 1	22
白血球高値	1		

* 1 その他の内訳

・肥満症（傾向含む）	3人	・低体重（傾向含む）	8人
・赤血球増多症	5人	・その他	6人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		保健室指導	
		要注意	要受診	参加	不参加
	人	人	人	人	人
新川中	15	7	8	14	1
中央中	8	6	2	8	0
南 中	22	9	13	18	4
東 中	25	14	11	23	2
西端中	11	3	8	11	0
合 計	81	39	42	74	7
割合 (%)		48.1	51.9	91.4	8.6

※ その他の活動

- 新川中 「健康分析集会～血液検査の結果から～」(1年生全員)
- 南中 「健康分析集会～血液検査の結果から～」(1年生全員)
- 中央中 「保健集会～血液検査の結果から～」(1年生全員)
- 東中 「学校保健委員会～血液検査の結果から～」(1年生全員)

(4) 血液検査平均値 (M) 標準偏差値 (SD)

ア 小学4年生

性別	男子			女子		
対象数	275 人			295 人		
項目	M	SD	M± 2 SD	M	SD	M± 2 SD
身長	133.47	5.63	123.2～145.3	133.57	6.15	122.0～146.5
体重	30.90	6.58	22.0～46.2	60.04	6.84	20.9～46.6
腹囲	58.91	8.45	47.7～77.5	57.14	7.38	47.0～73.6
腹囲/身長比	0.44	0.06	0.361～0.572	0.43	0.05	0.360～0.530
肥満度	2.05	15.77	-19.0～40.3	-0.14	15.32	-20.0～33.6
最高血圧	102.58	10.92	83.3～126.1	103.40	10.24	84.7～125.0
最低血圧	59.65	8.07	44.5～75.6	60.77	7.10	48.5～76.3
白血球	6282.07	1634.44	3868～9539	6192.12	1651.44	3844～10256
赤血球	477.40	31.43	418～537	473.33	29.26	418～533
血色素量	13.24	0.69	11.80～14.46	13.26	0.70	11.96～14.70
ヘマトクリット	39.06	2.02	34.86～42.84	39.41	2.00	35.45～43.43
平均赤血球容積	81.95	3.03	76.7～87.0	83.37	2.77	78.2～89.0
平均赤血球血色素量	27.79	1.26	25.55～29.95	28.06	1.12	25.92～30.31
平均赤血球血色素濃度	33.90	0.76	32.39～35.37	33.66	0.69	32.27～34.97
血糖	88.10	5.39	77.8～98.9	86.77	5.42	76.9～96.6
総蛋白量	7.13	0.37	6.46～7.91	7.22	0.36	6.55～7.97
総コレステロール	175.65	25.68	129.8～230.7	176.10	25.34	130.7～230.1
HDL コレステロール	66.69	13.15	44.4～95.4	63.83	12.89	41.0～91.5
LDL コレステロール	94.50	21.37	59.0～141.3	96.30	22.61	56.4～144.7
動脈硬化指数	1.71	0.56	0.90～3.07	1.85	0.65	0.94～3.46
中性脂肪	57.63	33.70	21～150	67.58	37.66	27～155
AST (GOT)	26.16	5.99	19.8～36.7	24.62	4.73	18.1～34.6
ALT (GPT)	16.06	8.10	8.2～34.2	13.57	4.94	8.0～24.9

イ 中学1年生

性別	男子			女子		
対象数	301 人			284 人		
項目	M	SD	M± 2 SD	M	SD	M± 2 SD
身長	153.57	8.39	137.1～170.3	152.64	7.20	140.2～162.1
体重	44.83	11.54	29.8～73.9	44.31	9.91	31.4～61.2
腹囲	65.72	10.28	52.6～88.4	64.94	8.87	53.7～80.1
腹囲/身長比	0.43	0.06	0.348～0.558	0.43	0.05	0.359～0.518
肥満度	0.40	18.20	-22.6～45.8	0.03	16.46	-22.4～32.4
最高血圧	107.28	11.69	84.5～129.7	107.50	11.15	86.9～128.6
最低血圧	58.57	8.96	41.4～76.7	59.73	8.47	46.2～76.8
白血球	6001.10	1331.72	3890～9135	6139.62	1445.56	3984～9686
赤血球	501.51	33.30	441～571	487.11	35.85	413～538
血色素量	14.09	0.86	12.59～15.92	13.82	0.94	11.78～15.18
ヘマトクリット	41.76	2.46	37.19～46.88	41.08	2.55	35.50～44.81
平均赤血球容積	83.37	3.07	78.3～89.5	84.48	3.47	79.7～91.7
平均赤血球血色素量	28.15	1.31	25.94～30.56	28.41	1.43	26.05～31.13
平均赤血球血色素濃度	33.76	0.72	32.31～35.09	33.63	0.79	31.93～35.10
血糖	88.44	6.31	77.3～100.0	87.92	5.96	77.1～98.0
総蛋白量	7.26	0.36	6.50～7.94	7.32	0.36	6.57～8.00
総コレステロール	168.60	28.47	123.2～235.4	170.95	26.87	129.8～228.3
HDL コレステロール	62.32	12.89	39.5～89.9	63.95	12.22	46.0～90.0
LDL コレステロール	91.05	23.83	55.5～148.6	92.12	22.83	54.5～140.2
動脈硬化指数	1.79	0.64	0.92～3.36	1.74	0.58	0.84～2.78
中性脂肪	71.97	37.76	29～170	72.22	35.55	32～159
AST (GOT)	23.58	9.29	15.9～34.1	21.21	7.40	14.2～26.0
ALT (GPT)	18.39	23.89	9.1～36.8	15.02	17.69	9.1～194.5

第 1 2 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業

1 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業の歩み

平成 15 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第一次）策定（10 年計画）
平成 19 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第一次）中間評価
平成 26 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）策定（10 年計画）
平成 26 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進イベント開始
平成 27 年 へきなん健康マイレージ事業開始
令和元年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）中間評価・見直し

2 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業

(1) 目的

へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）推進のために、全市的に碧南市の健康課題、健康づくりについて普及啓発をはかる。

(2) 対象

市民

(3) 日時

令和 7 年 1 月 1 4 日（火）午後 1 時 3 0 分から 3 時

(4) 実施場所

碧南市役所 2 階 会議室 4 ・ 5

(5) 内容

講演 「健康長寿と血糖コントロールを目指した身体活動
～歯磨きのように運動する～」

講師 名古屋大学総合保健体育科学センター 保健科学部
医学研究科 健康スポーツ医学 教授 小池 晃彦 氏

(6) 参加人数

6 6 人

3 へきなん健康マイレージ事業

(1) 目的

へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）副題である「健康寿命日本一を目指して」のために、市民の主体的な健康づくりへの動機付け支援を行い、健康的な生活習慣の定着、継続を目指すとともに、企業・団体等との連携によ

る健康づくりを支える環境の整備を促進することを目的とする。

(2) 対象

18歳以上の市民、在勤者

(3) 優待カード発行数

55枚（紙） 110枚（アプリ） 計165枚

第 13 骨髄提供者等に対する助成事業

1 骨髄提供者等に対する助成事業

(1) 目的

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業にドナー登録を行い、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った人及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者等の負担の軽減を図るとともに、骨髄等の移植を推進する。

(2) 対象者

ア 骨髄提供者で骨髄等の提供の日に市内に住所を有する人

イ (2)アの骨髄提供者（個人事業主を除く）が骨髄等の提供の日に勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人、国立大学法人及び公立大学法人を除く）

(3) 助成金額

ア 骨髄提供者

1人につき、通院又は入院に要した日数に20,000円を乗じた額。
ただし、通算7日（140,000円）を限度とする。

イ 事業所

1事業所につき、1(1)の骨髄提供者が通院又は入院に要した日数に10,000円を乗じた額。ただし、通算7日（70,000円）を限度とする。

(4) 開始日

平成31年4月1日

(5) 実績

令和元年度 0件

令和2年度 1件（6日分、120,000円）

令和3年度 0件

令和4年度 0件

令和5年度 0件

令和6年度 0件

第 1 4 がん患者支援事業

1 がん患者アピアランスケア支援事業

(1) 目的

がん患者のがん治療による外見変貌を補完する補整用具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の就労及び社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図る。

(2) 対象

下記のアからエの全てに当てはまる人

ア 申請時において碧南市に住民登録している人

イ がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている人

ウ がん治療による脱毛又は乳房が変形したことに伴い補整用具を購入した人

エ 過去に同じ対象品で助成を受けていない人

(3) 助成内容

ア ウィッグ（かつら）

ウィッグ全頭用又は部分用で、ウィッグと同時に購入した頭皮保護用ネットを含む。

イ 乳房補整具

補整下着、補整パッド又は人工乳房。補整パッド又は人工乳房と同時に購入した補整パッド又は人工乳房を固定するための補整機能のない下着を含む。

(4) 助成金額

補整用具の購入費用に2分の1を乗じて得た額とし、2万円を上限とする。助成の回数は、対象者1人につき、補整用具の種類ごとに1回とする。

(5) 開始日

令和4年4月1日

(6) 令和6年度実績

ウィッグ 23件

乳房補整具 9件

2 若年がん患者在宅療養支援事業

(1) 目的

医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと診断された若年のがん患者に対し、若年がん患者在宅療養費助成金を支給することにより、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう支援し、患者及びその家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

(2) 対象

下記のアからエの全てに当てはまる人

- ア 利用時において碧南市に住民登録している人
- イ 利用時において、40歳未満の人
- ウ がんと診断された人
- エ 在宅における療養生活の支援及び介護が必要な人

(3) 助成内容

- ア 在宅サービス
- イ 福祉用具の貸与
- ウ 福祉用具の購入

※他の制度において支援事業と同等の助成又は給付を受けているものは、対象外

(4) 助成金額

在宅サービス等の利用費用の9割相当額とし、1か月5万4千円を上限とする。

(5) 開始日

令和5年4月1日

(6) 令和6年度実績

1件